



show aal2 profile ~ show call filter match-list

- [show aal2 profile](#) (2 ページ)
- [show atm video-voice address](#) (4 ページ)
- [show auto-config](#) (5 ページ)
- [show backhaul-session-manager group](#) (7 ページ)
- [show backhaul-session-manager session](#) (10 ページ)
- [show backhaul-session-manager set](#) (13 ページ)
- [show call accounting-template voice](#) (15 ページ)
- [show call active fax](#) (19 ページ)
- [show call active media](#) (30 ページ)
- [show call active total-calls](#) (38 ページ)
- [show call active video](#) (39 ページ)
- [show call active voice](#) (50 ページ)
- [show call application app-level](#) (74 ページ)
- [show call application gateway-level](#) (78 ページ)
- [show call application interface](#) (81 ページ)
- [show call application services registry](#) (85 ページ)
- [show call application session-level](#) (87 ページ)
- [show call application sessions](#) (100 ページ)
- [show call application voice](#) (104 ページ)
- [show call fallback cache](#) (110 ページ)
- [show call fallback config](#) (112 ページ)
- [show call fallback stats](#) (114 ページ)
- [show call filter components](#) (116 ページ)
- [show call filter match-list](#) (118 ページ)

show aal2 profile

システムに設定された ATM アダプテーション層 2 (AAL2) プロファイルを表示するには、特権 EXEC モードで **show aal2 profile** コマンドを使用します。

```
show aal2 profile all {ituf profile-number | atmf profile-number | custom profile-number}
```

構文の説明	
all	システムに設定されている ITU-T プロファイル、ATMF プロファイルおよびカスタム AAL2 プロファイルを表示します。
ituf	システムに設定されている ITU-T プロファイルを表示します。
atmf	システムに設定されている ATMF プロファイルを表示します。
custom	システムに設定されているカスタムプロファイルを表示します。
<i>profile -number</i>	表示する AAL2 プロファイル番号。選択肢は次のとおりです。 ITU-T の場合： <ul style="list-style-type: none"> • 1 = G.711 u-law • 2 = 無音挿入記述子 (SID) を持つ G.711 u-law • 7 = G.711 u-law および G.729ar8 ATMF の場合：なし。ATMF はサポートされていません。 カスタムの場合： <ul style="list-style-type: none"> • 100 = G.711 u-law および G.726r32 • 110 = G.711 u-law、G.726r32、および G.729ar8

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(1)XA	このコマンドが Cisco MC3810 に追加されました。
12.1(2)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.1(2)T に統合されました。
12.2(2)T	このコマンドが Cisco 7200 シリーズに導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、Cisco 7200 シリーズルータの AAL2 VoATM アプリケーションに適用されません。

例

次のコマンドは、システム内で設定されているすべてのプロファイルを表示します。

```

Router# show aal2 profile all
Printing all the Profiles in the system
Profile Type: ITUT Profile Number: 1 SID Support: 0
Red enable: 1 Num entries: 1
Coding type: g711ulaw Packet length: 40 UUI min: 0 UUI max: 15
Profile Type: ITUT Profile Number: 2 SID Support: 1
Red enable: 1 Num entries: 1
Coding type: g711ulaw Packet length: 40 UUI min: 0 UUI max: 15
Profile Type: custom Profile Number: 100 SID Support: 1
Red enable: 1 Num entries: 2
Coding type: g711ulaw Packet length: 40 UUI min: 0 UUI max: 7
Coding type: g726r32 Packet length: 40 UUI min: 8 UUI max: 15
Profile Type: ITUT Profile Number: 7 SID Support: 1
Red enable: 1 Num entries: 2
Coding type: g711ulaw Packet length: 40 UUI min: 0 UUI max: 15
Coding type: g729ar8 Packet length: 10 UUI min: 0 UUI max: 15
Profile Type: custom Profile Number: 110 SID Support: 1
Red enable: 1 Num entries: 3
Coding type: g711ulaw Packet length: 40 UUI min: 0 UUI max: 7
Coding type: g726r32 Packet length: 40 UUI min: 8 UUI max: 15
Coding type: g729ar8 Packet length: 30 UUI min: 8 UUI max: 15

```

下の表に、このコマンド出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 1: show aal2 profile all のフィールドの説明

フィールド	説明
Coding type	音声圧縮アルゴリズム。
ITUT Profile Number	デジタルシグナルプロセッサ (DSP) に設定されている、事前に定義された 1 つ以上のコーデックタイプの組み合わせ。
Num entries	プロファイル要素の数。
Packet length	サンプルサイズ。
Profile Type	DSP に設定されているコーデックタイプのカテゴリ。入力可能なタイプは、ITU-T、ATMF およびカスタムです。
Red enable	タイプ 3 パケットの冗長性。
SID Support	無音挿入記述子。
UUI max	音声パケットの最大シーケンス番号。
UUI min	音声パケットの最小シーケンス番号。

関連コマンド

コマンド	説明
codec aal2-profile	コールごとに DSP のコーデックプロファイルを設定します。

show atm video-voice address

ATM インターフェイスのネットワーク サービス アクセス ポイント (NSAP) アドレスを表示するには、特権 EXEC モードで **show atm video-voice address** コマンドを入力します。

show atm video-voice address

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.0(5)XK	このコマンドが Cisco MC3810 に追加されました。
12.0(7)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.0(7)T に統合されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用すると、**atm video aesa** コマンドで割り当てられた ATM インターフェイスの NSAP アドレスを確認し、そのアドレスの ATM 管理が確定済みであることを確認できます。

例

次の例では、ATM インターフェイスの NSAP アドレスが表示されています。

```
Router# show atm video-voice address
nsap address                               type           ilmi status
47.0091810000000002F26D4901.00107B4832E1.FE VOICE_AAL5     Confirmed
47.0091810000000002F26D4901.00107B4832E1.C8 VIDEO_AAL1     Confirmed
```

下の表に、このコマンド出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 2: **show atm video-voice address** のフィールドの説明

フィールド	説明
NSAP address	ATM インターフェイスの NSAP アドレス。
Type	ATM インターフェイスのタイプ。
ILMI status	ATM インターフェイスの Integrated Local management Interface (ILMI) プロトコルステータス。

関連コマンド

コマンド	説明
codec aal2-profile	コールごとに DSP のコーデックプロファイルを設定します。

show auto-config

自動構成アプリケーションの現在のステータスを表示するには、特権 EXEC モードで **show auto-config** コマンドを使用します。

show auto-config [application sccp]

構文の説明	application sccp	Skinny Client Control Protocol (SCCP) アプリケーションのみの現在のステータスを表示します。
-------	-------------------------	--

コマンドモード 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.3(8)XY	このコマンドがコミュニケーションメディアモジュールに導入されました。
	12.3(14)T	このコマンドが、Cisco IOS リリース 12.3(14)T に統合されました。

例

次に、**show auto-config** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show auto-config application sccp
auto-config application: sccp
auto-config admin state: ENABLED & ACTIVE
download retries: (3)
download timeout: no timeout, continuous retry
server(s): 172.19.240.41 172.19.240.40 172.19.240.42
Configuration Download statistics:
  Download Attempted           : 2
  Download Successful          : 2
  Download Failed              : 0
  Configuration Attempted     : 2
  Configuration Successful     : 2
  Configuration Failed(parsing): 0
  Configuration Failed(config) : 0
Configuration Error History:
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 3: *show auto-config* のフィールドの説明

フィールド	説明
ENABLED	自動構成アプリケーションを表示します。SCCP が有効になっている状態です。
ACTIVE	SCCP アプリケーションが自動設定を使用するよう登録されていることを示します。
timeout	タイムアウトが0に設定されていて、タイムアウトなしで連続的に再試行することが示されています。

関連コマンド

コマンド	説明
auto-config	SCCP アプリケーションで自動設定を有効にするか、自動構成アプリケーション コンフィギュレーション モードを開始します。
debug auto-config	自動構成アプリケーションのデバッグを有効にします。
debug sccp config	SCCP イベントのデバッグを有効にします。

show backhaul-session-manager group

特定のセッショングループまたは使用可能なすべてのセッショングループのステータス、統計または設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show backhaul-session-manager group** コマンドを使用します。

show backhaul-session-manager group {status | stats | cfg} {all | name *group-name* }

構文の説明

status	使用可能なセッショングループのステータス。
stats	使用可能なセッショングループの統計。
cfg	使用可能なセッショングループの設定。
all	すべてのセッショングループに関する指定したパラメータ。
name <i>group -name</i>	特定のセッショングループ。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(1)T	このコマンドが Cisco AS5300 に導入されました。
12.2(2)T	このコマンドが Cisco 7200 シリーズに導入されました。
12.2(4)T	このコマンドが Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco MC3810 に導入されました。
12.2(2)XB	このコマンドが Cisco AS5350 および Cisco AS5400 に導入されました。
12.2(2)XB1	このコマンドが Cisco AS5850 に導入されました。
12.2(8)T	このコマンドは Cisco IOS リリース 12.2(8)T に統合され、Cisco IAD2420 シリーズに導入されました。このリリースは、Cisco AS5300、Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 ではサポートされていません。
12.2(11)T	このリリースのコマンドは、Cisco AS5300、Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 でサポートされています。

例

次の例は、すべてのセッショングループの統計を表示したものです。

```
Router# show backhaul-session-manager group stats all
Session-Group grp1 statistics
  Successful Fail-Overs      :0
  Un-Successful Fail-Over attempts:0
  Active Pkts receive count  :0
```

show backhaul-session-manager group

```
Standby Pkts receive count :0
Total PDUs dispatch err   :0
```

次の例は、すべてのセッショングループの現在の設定を表示したものです。

```
Router# show backhaul-session-manager group cfg all
Session-Group
Group Name :grp1
Set Name   :set1
Sessions   :3
Dest:10.5.0.3 8304 Local:10.1.2.15 8304 Priority:0
Dest:10.5.0.3 8300 Local:10.1.2.15 8300 Priority:2
Dest:10.5.0.3 8303 Local:10.1.2.15 8303 Priority:2
RUDP Options
timer cumulative ack :100
timer keepalive      :1000
timer retransmit     :300
timer transfer state :2000
receive max          :32
cumulative ack max   :3
retrans max          :2
out-of-sequence max  :3
auto-reset max       :5
```

次の例は、すべてのセッショングループの現在の状態を表示したものです。「grp1」という名前のグループは、「set1」という名前のセットに属しています。

```
Router# show backhaul-session-manager group status all
Session-Group
Group Name   :grp1
Set Name     :set1
Status       :Group-OutOfService
Status (use) :Group-None
```

下の表に、このコマンド出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 4: show backhaul-session-manager group のフィールドの説明

フィールド	説明
RUDP Options	Reliable User Datagram Protocol (RUDP) の各種オプション。
Status	次のいずれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Group-OutOfService -- 当該グループ内ではセッションが1つも確立されていません。 • Group-Inservice -- 当該グループ内では1つ以上のセッションが確立されています。

フィールド	説明
Status (use)	次のいずれかが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Group-Standby -- 当該グループ内の反対側に接続されている仮想スイッチコントローラ (VSC) がスタンバイモードになっています。 • Group-Active -- 当該グループ内の反対側に接続されている VSC がアクティブ状態です。 • Group-None -- VSC がまだインテントを宣言していません。

関連コマンド

コマンド	説明
show backhaul-session-manager session	セッションのステータス、統計または設定を表示します。
show backhaul-session-manager set	特定のセッションセットまたはすべてのセッションセットに関連付けられた各セッショングループを表示します。

show backhaul-session-manager session

単一または複数のセッションに関するさまざまな情報を表示するには、特権 EXEC モードで **show backhaul-session-manager session** コマンドを使用します。

show backhaul-session-manager session {all | ip ip-address}

構文の説明	パラメータ	説明
	all	利用可能なすべてのセッションに関する情報が表示されます。
	ip	この IP アドレスに関連付けられたセッションの情報のみが表示されます。
	<i>ip -address</i>	ローカルセッションまたはリモートセッションの IP アドレス。

コマンドモード 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(1)T	このコマンドが Cisco AS5300 に導入されました。
	12.2(2)T	このコマンドが Cisco 7200 シリーズに導入されました。
	12.2(4)T	このコマンドが Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco MC3810 に導入されました。
	12.2(2)XB	このコマンドが Cisco AS5350 および Cisco AS5400 に導入されました。
	12.2(2)XB1	このコマンドが Cisco AS5850 に導入されました。
	12.2(8)T	このコマンドは Cisco IOS リリース 12.2(8)T に統合され、Cisco IAD2420 シリーズに導入されました。このリリースは、Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 ではサポートされていません。
	12.2(11)T	このコマンドが Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 に導入されました。

例

次のコマンドは、利用可能なすべてのセッションの情報を表示します。

```
Router# show backhaul-session-manager session all
Session information --
Session-id:35
  Group:grp1 /*this session belongs to the group named 'grp1' */
Configuration:
  Local:10.1.2.15      , port:8303
  Remote:10.5.0.3     , port:8303
  Priority:2
  RUDP Option:Client, Conn Id:0x2
State:
  Status:OPEN_WAIT, Use-status:OOS, /*see explanation below */
Statistics:
```

```

# of resets:0
# of auto_resets 0
# of unexpected RUDP transitions (total) 0
# of unexpected RUDP transitions (since last reset) 0
Receive pkts - Total:0 , Since Last Reset:0
Recieve failures - Total:0 ,Since Last Reset:0
Transmit pkts - Total:0, Since Last Reset:0
Transmit Failures (PDU Only)
    Due to Blocking (Not an Error) - Total:0, Since Last Reset:0
    Due to causes other than Blocking - Total:0, Since Last
Reset:0
    Transmit Failures (NON-PDU Only)
        Due to Blocking(Not an Error) - Total:0, Since Last Reset:0
        Due to causes other than Blocking - Total:0, Since Last
Reset:0
    RUDP statistics
        Open failures:0
        Not ready failures:0
        Conn Not Open failures:0
        Send window full failures:0
        Resource unavailble failures:0
        Enqueue failures:0

```

下の表に、このコマンド出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 5: show backhaul-session-manager session のフィールドの説明

フィールド	説明
状態	<p>次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OPEN -- 接続を確立済みです。 • OPEN_WAIT -- 接続の確立を待機中です。 • OPEN_XFER -- このセッションではセッションフェイルオーバーが進行中です。これは一時的な状態です。 • CLOSE -- セッションが停止中です。これも同様に一時的な状態です。 <p>セッションは一定時間にわたって待機したのちに、OPEN_WAIT へと移行します。</p>
Use-status	<p>このセッションで現在 PRI シグナリングトラフィックが転送中かどうかを示します。次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • OOS -- セッションは現在シグナリングトラフィックの転送に使用されていません。このサービス停止中 (OOS) ステータスは、接続が確立されているかどうかの指標にはなりません。 • IS -- セッションは現在、すべての PRI シグナリングトラフィックの転送に使用されています。このサービス中 (IS) ステータスは、接続が確立済みであることを示します。

関連コマンド

コマンド	説明
show backhaul-session-manager group	特定のセッショングループまたはすべてのセッショングループのステータス、統計、または設定を表示します。
show backhaul-session-manager set	特定のセッションセットまたはすべてのセッションセットに関連付けられた各セッショングループを表示します。

show backhaul-session-manager set

指定したセッションセットまたはすべてのセッションセットに関連付けられたセッショングループを表示するには、特権 EXEC モードで **show backhaul-session-manager set** コマンドを使用します。

show backhaul-session-manager set {all | name *session-set-name*}

構文の説明

all	利用可能なすべてのセッションセット。
name <i>session-set-name</i>	指定したセッションセット。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(1)T	このコマンドが Cisco AS5300 に導入されました。
12.2(2)T	このコマンドが Cisco 7200 シリーズに導入されました。
12.2(4)T	このコマンドが Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco MC3810 に導入されました。
12.2(2)XB	このコマンドが Cisco AS5350 および Cisco AS5400 に導入されました。
12.2(2)XB1	このコマンドが Cisco AS5850 に導入されました。
12.2(8)T	このコマンドは Cisco IOS リリース 12.2(8)T に統合され、Cisco IAD2420 シリーズに導入されました。このリリースは、Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 ではサポートされていません。
12.2(11)T	このリリースでは、このコマンドは Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 でサポートされています。

例

次のコマンドは、すべてのセッションセットに関連付けられたセッショングループを表示したものです。

```
Router# show backhaul-session-manager set all
```

関連コマンド

コマンド	説明
show backhaul-session-manager group	特定のセッショングループまたはすべてのセッショングループのステータス、統計、または設定を表示します。

コマンド	説明
show backhaul -session-manager session	単一セッションもしくはすべてのセッションのステータス、統計または設定を表示します。

show call accounting-template voice

アカウントリング テンプレート アクティビティを表示するには、特権 EXEC モードで **show call accounting-template voice** コマンドを使用します。

show call accounting-template voice [{ *WORD* | *attrList* | *qdump* | *summary* }]

構文の説明	
<i>WORD</i>	(任意) アカウントリング テンプレートの名前。
<i>attrList</i>	(任意) アカウントリング テンプレートでフィルタリングした、すべてのベンダー固有属性 (VSA) を表示します。
<i>qdump</i>	(任意) サービスキューおよびフリーキューのテンプレートアクティビティを表示します。
<i>summary</i>	(任意) すべてのアカウントリングテンプレートの名前と、現在使用中の各テンプレート内の属性の数を一覧表示します。

コマンドモード 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(11)T	このコマンドが Cisco 3660、Cisco AS5300、Cisco AS5350、Cisco AS5400、Cisco AS5800、および Cisco AS5850 に導入されました。

使用上のガイドライン

- **show call accounting-template voice** コマンドは、設定済みの各テンプレートで定義されたステータスおよび属性を表示します。
- **show call accounting-template voice WORD** コマンドは、特定のテンプレートのステータスと、そのテンプレートで定義されている各属性 (VSA) を表示します。
- **show call accounting-template voice attrList** コマンドは、アカウントリングテンプレートでフィルタリングできる VSA をすべて表示します。
- **show call accounting-template voice qdump** コマンドは、サービスキュー (svc) およびフリーキュー内のテンプレートアクティビティを表示します。このコマンドでは、当該テンプレートの URL、当該テンプレートがアクティブ状態になっているログ数、およびテンプレートの状態が表示されます。
 - 定義された後、アカウントリングテンプレートは新しい着信コールを処理するため svc キューに入ります。実行中のアカウントリングテンプレートが定義されていない状態の場合、または実行中のアカウントリングテンプレートがアクティブコール中にリロードされた場合、当該テンプレートは svc キューからフリーキューに移動し、すべてのアクティブコールが当該テンプレートの参照を停止した後に再使用可能になります。アクティブコール中に参照されるリロード済みまたは未定義のテンプレートは

「ダーティ」状態にあると見なされ、このようなテンプレートはダーティテンプレートと呼ばれます。

- 開始レコードおよび終了レコードを、ダーティテンプレートを参照しているアクティブコールで確実に対応させるためには、当該ダーティテンプレートを参照中のすべてのアクティブコールがリリースされるまで、すべてのダーティテンプレートをアライブ状態に保持しておく必要があります。すべてのアクティブコールがリリースされた後は、次のコールにはリロード済みのテンプレートが適用されます。

- **show call accounting-template voice summary** コマンドは、すべての設定済みアカウントリングテンプレートの現状ステータスを表示します。このコマンドでは、テンプレートがロードされたかどうか、およびテンプレートが正常に実行中かどうかが表示されます。

例

次の例は、「cdr1」と「cdr2」という名称の2つのテンプレートに関する詳細を表示したものです。

```
Router# show call accounting-template voice
CDR template cdr1 is running
url: tftp://sanjoe/santa/abc/Templates/cdr1.cdr
The last load was successful.
attr: h323-call-origin (56)
attr: h323-call-type (57)
attr: h323-gw-id (65)
attr: subscriber (79)
attr: in-portgrp-id (80)
attr: out-portgrp-id (81)
Totally 6 attrs defined.
CDR template cdr2 is running
url: tftp://sanjoe/santa/abc/Templates/cdr2.cdr
The last load was successful.
attr: h323-call-origin (56)
attr: h323-call-type (57)
attr: h323-connect-time (59)
attr: h323-disconnect-time (64)
attr: h323-gw-id (65)
attr: h323-setup-time (76)
attr: h323-voice-quality (78)
Totally 7 attrs defined.
```

次の例は、「cdr1」という名称のテンプレートのみにに関する詳細を表示したものです。

```
Router# show call accounting-template voice cdr1
CDR template cdr1 is running
url: tftp://sanjoe/santa/abc/Templates/cdr1.cdr
The last load was successful.
attr: h323-call-origin (56)
attr: h323-call-type (57)
attr: h323-gw-id (65)
attr: subscriber (79)
attr: in-portgrp-id (80)
attr: out-portgrp-id (81)
Totally 6 attrs defined.
```

次の例は、1つのテンプレートでフィルタリングできる64の属性をすべて表示したものです。


```
Router# show call accounting-template voice attrList
h323-call-origin
h323-call-type
h323-gw-id
h323-setup-time
h323-connect-time
h323-disconnect-time
h323-disconnect-cause
.
.
.
calling-party-category
originating-line-info
charge-number
transmission-medium-req
redirecting-number
backward-call-indicators
Totally 64 attributes are filterable.
```

次の例は、サービスキュー内のテンプレートアクティビティを表示したものです。当初、ダーティ状態のテンプレートはありません。

```
Router# show call accounting-template voice qdump
name          url                               is_dirty  no_of_legs
=====
cdr1          tftp://sanjoe/santa/abc          0
cdr2          tftp://sanjoe/santa/abc          0
cdr3          tftp://sanjoe/santa/abc          0
```

次に示す、アクティブコール中にテンプレートがリロードされた後の出力表示では、「cdr1」と「cdr2」という名称の各テンプレートがダーティ状態にあることが示されています。

```
.
.
.
Templates in freeq
cdr1          tftp://sanjoe/santa/abc          dirty     1
cdr2          tftp://sanjoe/santa/abc          dirty     1
```

次の例は、設定済みのすべてのアカウントングテンプレートの要約を表示したものです。「cdr3」という名称のテンプレートは、拒否されたか、あるいは指定した URL に存在しないことが原因で、実行中モードでないことが示されています。

```
Router# show call accounting-template voice summary
name          url                               last_load  is_running
=====
cdr1          tftp://sanjoe/santa/abc          success    is running
cdr2          tftp://sanjoe/santa/abc          success    is running
cdr3          tftp://sanjoe/santa/abc          fail       is not running
```

次の表に、**show call accounting-template voice** コマンドの出力で表示されるフィールドについて説明します。

表 6: show call accounting-template voice のフィールドの説明

フィールド	説明
name	アカウントリング テンプレートの名前。
url	アカウントリング テンプレートの場所。
last_load	当該場所からアカウントリング テンプレートが正常にロードされたかどうかを示します。
is_running	アカウントリング テンプレートが、当該場所から正常にロードされた後にアクティブ化されたかどうかを示します。
is_dirty	当該アカウントリング テンプレートがアクティブコール中にリロードされたことを示します。
no_of_legs	コールレッグ数。
attr	アカウントリング テンプレートで定義されたベンダー固有属性 (VSA)。

関連コマンド

コマンド	説明
gw-accounting aaa	新しいアカウントリング テンプレートを設定します。

show call active fax

進行中の T.37 ストアアンドフォワードファクス送信のコール情報を表示するには、ユーザー EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show call active fax** コマンドを使用します。

```
show call active fax [{brief [id identifier]|compact [duration {less seconds|more seconds}]
|id identifier}]
```

構文の説明	
brief	(任意) 簡略版のファクスコール情報を表示します。
id identifier	(任意) 指定した識別子を持つコールのみを表示します。範囲は 1 ~ FFFF の 16 進値です。
compact	(任意) ファクスコールの要約情報を表示します。
duration	(任意) 指定した <i>seconds</i> (秒数) の値よりも長いまたは短いアクティブコールを表示します。引数およびキーワードは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • less -- 指定した <i>seconds</i> 値よりも短いコールを表示します。 • more -- 指定した <i>seconds</i> 値よりも長いコールを表示します。 • <i>seconds</i> -- 経過時間 (秒)。範囲は 1 ~ 2147483647 です。デフォルト値はありません。

コマンドモード ユーザー EXEC (>) 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	11.3(1)T	このコマンドが Cisco 2600 シリーズおよび Cisco 3600 シリーズに導入されました。
	12.0(3)XG	このコマンドが変更されました。Voice over Frame Relay (VoFR) のサポートが追加されました。
	12.0(4)XJ	このコマンドが、Cisco AS5300 のストアアンドフォワードファクスに導入されました。
	12.0(4)T	このコマンドが Cisco 7200 シリーズに導入されました。
	12.0(7)XK	このコマンドが Cisco MC3810 に導入されました。
	12.1(2)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.1(2)T に統合されました。
	12.1(3)T	このコマンドが変更されました。このコマンドが、Cisco AS5300 の VoIP を介したモデムパススルーに導入されました。
	12.1(5)XM	このコマンドが Cisco AS5800 に導入されました。

リリース	変更内容
12.1(5)XM2	このコマンドが Cisco AS5350 および Cisco AS5400 に導入されました。
12.2(2)XB1	このコマンドが Cisco AS5850 に導入されました。
12.2(8)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.2(8)T に統合されました。このリリースでは、Cisco AS5300、Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 のサポートは含まれていませんでした。
12.2(11)T	Cisco AS5300、Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 に対するサポートが追加されました。
12.3(14)T	このコマンドが変更されました。T.38 ファクスリレーコールの統計情報が、ベンダー固有の属性 (VSA) を介してコール詳細レコード (CDR) で利用できるようになり、コールログに追加されました。
12.4(2)T	このコマンドが変更されました。LocalHostname 表示フィールドが VoIP コールレグレコードに追加されました。
12.4(15)T	このコマンドが変更されました。コマンド出力内の TELE コールレグレコードに、表示フィールド Port および BearerChannel が追加されました。
12.4(16)	このコマンドが変更されました。コマンド出力内の TELE コールレグレコードに、表示フィールド Port および BearerChannel が追加されました。
12.4(22)T	このコマンドが変更されました。コマンド出力が更新され、IPv6 情報が表示されるようになりました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用すると、アクティブコールテーブルの内容を表示できます。このコマンドは、ルータを介して現在接続されている T.37 ストアアンドフォワードファクスコールのコール時間、ダイヤルピア、接続、サービス品質、およびその他のステータスと統計情報に関する情報を表示します。このコマンドは、オンランプとオフランプの両方のストアアンドフォワードファクス機能で動作します。

進行中のファクスリレーコールに関する情報を表示するには、**show call active voice** コマンドを使用します。

例

次に、**show call active fax** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show call active fax
GENERIC:
SetupTime=22021 ms
Index=1
PeerAddress=peer one
PeerSubAddress=
PeerId=0
PeerIfIndex=0
LogicalIfIndex=0
ConnectTime=24284
```

```

CallState=4
CallOrigin=2
ChargedUnits=0
InfoType=10
TransmitPackets=0
TransmitBytes=0
ReceivePackets=0
ReceiveBytes=41190
MMOIP:
ConnectionId[0x37EC7F41 0xB0110001 0x0 0x35C34]
CallID=1
RemoteIPAddress=10.0.0.0
SessionProtocol=SMTP
SessionTarget=
MessageId=
AccountId=
ImgEncodingType=MH
ImgResolution=fine
AcceptedMimeTypes=2
DiscardedMimeTypes=1
Notification=None
GENERIC:
SetupTime=23193 ms
Index=1
PeerAddress=527....
PeerSubAddress=
PeerId=3469
PeerIfIndex=157
LogicalIfIndex=30
ConnectTime=24284
CallState=4
CallOrigin=1
ChargedUnits=0
InfoType=10
TransmitPackets=5
TransmitBytes=6513
ReceivePackets=0
ReceiveBytes=0
TELE:
ConnectionId=[0x37EC7F41 0xB0110001 0x0 0x35C34]
CallID=2
Port=3/0/0 (2)
BearerChannel=3/0/0.1
TxDuration=24010 ms
FaxTxDuration=10910 ms
FaxRate=14400
NoiseLevel=-1
ACOMLevel=-1
OutSignalLevel=0
InSignalLevel=0
InfoActivity=0
ERLLevel=-1
SessionTarget=
ImgPages=0

```

次の表に、**show call active fax**コマンド出力に表示される各種フィールドの一覧（アルファベット順）と、各フィールドの説明を示します。

表 7: show call active fax のフィールドの説明

フィールド	説明
ACOM Level	当該コールの現在の ACOM レベル。ACOM は、エコーキャンセラによって実現される複合損失（つまり、当該コールのエコー反射減衰量、エコー反射減衰量拡張および非線形処理損失の合計）を示します。
BearerChannel	コールを伝送するベアラーチャネルの ID。
Buffer Drain Events	ジッターバッファドレインイベントの合計数。
Buffer Fill Events	ジッターバッファ占有イベントの合計数。
CallDuration	コールの長さ（時間、分、秒（hh:mm:ss）単位）。
CallOrigin	コールオリジン（応答または発信）。
CallState	コールの現在の状態。
ChargedUnits	システム起動時以降、対象となるピアに適用される課金単位の総数。このフィールドの測定単位は 100 分の 1 秒。
CodecBytes	使用コーデックのペイロードサイズ（バイト単位）。
CoderTypeRate	ネゴシエート済みのコーダーレート。この値によって、このコールに関連付けられたコールログへの音声圧縮またはファクス圧縮の送信レートが指定されます。
ConnectionId	このゲートウェイコールのグローバルコール ID。
ConnectTime	コールが接続されていた時間（ミリ秒）。
Consecutive-packets-lost Events	連続した（2 つ以上の）パケット損失イベントの合計数。
Corrected packet-loss Events	RFC 2198 メソッドを使用して修正されたパケット損失イベントの合計数。
Dial-Peer	このコールを送信するダイヤルピアのタグ。
EchoCancellerMaxReflector=64	最大リフレクタの位置（ミリ秒（ms）単位）。リフレクタのサイズは、設定したエコーパス容量を超えません。たとえば 32 ミリ秒に設定されている場合、リフレクタは 32 ミリ秒を超えて報告しません。
ERLLevel	このコールの現在のエコー反射減衰量（ERL）レベル。

フィールド	説明
FaxTxDuration	このコールのこのピアから音声ゲートウェイへのファクス送信の時間。FaxTxDuration の値を TxDuration の値で割ることにより、そのファクスの使用率を導き出すことができます。
GapFillWithInterpolation	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、時間的に前後するデータのパラメータまたはサンプルから合成された信号を使って音声信号が再生された時間。
GapFillWithPrediction	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、時間的に先行するデータのパラメータまたはサンプルから合成された信号を使ってその音声信号が再生された時間。このようなプリアウトの例には、G.729 および G.723.1 圧縮アルゴリズムでのフレーム消去方式やフレーム隠蔽方式が挙げられます。
GapFillWithRedundancy	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、利用可能な冗長性パラメータから合成された信号を使って音声信号が再生された時間。
GapFillWithSilence	音声データが失われたか、当該コールの時間内に受信されなかったことが原因で、音声信号が無音に置き換えられた時間。
GENERIC	汎用パラメータまたは共通パラメータ（つまり VoIP コールレグおよびテレフォニーコールレグに共通のパラメータ）。
H323 call-legs	コールレコードが利用可能な H.323 コールレグの合計数。
HiWaterPlayoutDelay	このコール中における最高水準音声の再生 FIFO 遅延（ミリ秒単位）。
Index	ダイヤルピア識別番号。
InfoActivity	このコールのアクティブ情報転送アクティビティ状態。
InfoType	このコールの情報タイプ。たとえば、音声またはファクスなど。
InSignalLevel	このコールで使用されるテレフォニーインターフェイスからのアクティブな入力信号レベル。
Last Buffer Drain/Fill Event	前回のジッターバッファドレインイベントまたはジッターバッファ占有イベントからの経過時間（秒単位）。
LocalHostname	ローカルで生成されたゲートウェイ URL に使用されるローカルホスト名。
LogicalIndex	このコールにおける論理インターフェイスのインデックス番号。

フィールド	説明
LoWaterPlayoutDelay	このコール中における最低水準音声の再生 FIFO 遅延（ミリ秒単位）。
LowerIFName	物理下位インターフェイスの情報。メディアが ATM、フレームリレー（FR）またはハイレベルデータリンク コントロール（HDLC）の場合にのみ表示されます。
Media	コールを伝送するメディア。コールが（電話による）アクセス側を経由して伝送された場合、エントリーは TELE となります。コールが音声ネットワーク側を経由して伝送された場合、エントリーは ATM、FR または HDLC のいずれかとなります。
Modem passthrough signaling method in use	このコールがモデムパススルーであり、シグナリングコーデックのアップスピードに、名前付きシグナリングイベント（NSE）（シスコ独自版の RFC 2833 名前付き電話イベント）が使用されることを示しています。アップスピードメソッドとは、ネットワーク状態に応じてコーデックの種類や速度を動的に変更するために用いるメソッドを指します。つまり、音声コールとデータコールの両方を処理する場合はより高速なコーデックに移行し、音声トラフィックのみを処理する場合はコーデック速度を下げる場合があります。
NoiseLevel	当該コールのアクティブノイズレベル。
OnTimeRvPlayout	当該コールに対して、時間通りに受信したデータからの音声再生の持続時間。アクティブ音声の合計音声再生時間は、OnTimeRvPlayout 値を GapFill 値に加算することで求めることができます。
OutSignalLevel	当該コールで使用されるテレフォニーインターフェイスへのアクティブな出力信号レベル。
PeerAddress	当該ピアに関連付けられた宛先パターンまたは宛先番号。
PeerId	当該コールの発信先であるピアテーブルエントリーの ID 値。
PeerIfIndex	このピアの音声ポートインデックス番号。ISDN メディアの場合は、当該コールで使用される B チャネルのインデックス番号となります。
PeerSubAddress	当該コール接続時のサブアドレス。
Percent Packet Loss	合計パケット損失率。
Port	コールを伝送する時分割多重（TDM）音声ポートの識別。
ReceiveBytes	当該コール中にこのピアが受信したバイト数。

フィールド	説明
ReceiveDelay	当該音声コール中における再生 FIFO 遅延の平均値とデコーダ遅延を加算した時間（ミリ秒）。
ReceivePackets	当該コール中にこのピアが受信したパケット数。
ReleaseSource	リリース元の数値。
RemoteIPAddress	VoIP コールでのリモートシステムの IP アドレス。
RemoteUDPPort	音声パケットの送信先であるリモートシステムの User Datagram Protocol (UDP) リスナーポート。
RoundTripDelay	当該コールの IP バックボーン上におけるローカルシステムとリモートシステム間での音声パケットのラウンドトリップ遅延。
SelectedQoS	当該コールに選択された Resource Reservation Protocol (RSVP) の RSVP Quality of Service (QoS)。
SessionProtocol	IP バックボーンを介したローカルルータとリモートルータ間でのインターネットコールに使用されるセッションプロトコル。
SessionTarget	このコールに使用されるピアのセッションターゲット。
SetupTime	このエントリに関連付けられたコールの開始時におけるシステム稼動時間の値（ミリ秒）。
SignalingType	このコールのシグナリングタイプ。たとえば、個別線信号方式 (CAS) または共通線信号 (CCS) などです。
SIP call-legs	コールレコードが使用可能な Session Initiation Protocol (SIP) コールレッグの合計数。
Telephony call-legs	コールレコードが利用可能なテレフォニーコールレッグの合計数。
Time between Buffer Drain/Fills	ジッターバッファドレインイベント間またはジッターバッファ占有イベント間の最小間隔および最大間隔（秒単位）。
TransmitBytes	当該コール中にこのピアが送信したバイト数。
TransmitPackets	当該コール中にこのピアが送信したパケット数。
TxDuration	通話時間メディアが TELE の場合にのみ表示されます。
VAD	このコールで音声アクティベーション検出 (VAD) が有効になっているかどうか。

フィールド	説明
VoiceTxDuration	このコールの当該ピアから音声ゲートウェイへの音声送信の持続時間（ミリ秒）。VoiceTxDurationの値をTxDurationの値で割ることにより、音声使用率を導き出すことができます。

次に、**show call active fax brief** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show call active fax brief
<ID>: <start>hs.<index> +<connect> pid:<peer_id> <dir> <addr> <state> \
  tx:<packets>/<bytes> rx:<packets>/<bytes> <state>
IP <ip>:<udp> rtt:<time>ms pl:<play>/<gap>ms lost:<lost>/<early>/<late>
  delay:<last>/<min>/<max>ms <codec>
FR <protocol> [int dlci cid] vad:<y/n> dtmf:<y/n> seq:<y/n>
  sig:<on/off> <codec> (payload size)
Tele <int>: tx:<tot>/<v>/<fax>ms <codec> noise:<l> acom:<l> i/o:<l>/<l> dBm

1      : 22021hs.1 +2263 pid:0 Answer wook song active
tx:0/0 rx:0/41190
IP 0.0.0.0 AcceptedMime:2 DiscardedMime:1

1      : 23193hs.1 +1091 pid:3469 Originate 527.... active
tx:10/13838 rx:0/0
Tele : tx:31200/10910/20290ms noise:-1 acom:-1 i/o:0/0 dBm
```

次に、**show call active fax** コマンドで T.38 ファクスリレーの統計情報を表示した場合の出力例を示します。

```
Router# show call active fax
Telephony call-legs: 1
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 0
MGCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 1
  GENERIC:
SetupTime=1874690 ms
Index=1
PeerAddress=5551234
PeerSubAddress=
PeerId=3
PeerIfIndex=244
LogicalIfIndex=118
ConnectTime=187875
CallDuration=00:00:44 sec
CallState=4
CallOrigin=2
ChargedUnits=0
InfoType=fax
TransmitPackets=309
TransmitBytes=5661
ReceivePackets=1124
ReceiveBytes=49189
TELE:
ConnectionId=[0x6B241E98 0xA78111D8 0x8002000A 0xF4107CA0]
IncomingConnectionId=[0x6B241E98 0xA78111D8 0x8002000A 0xF4107CA0]
CallID=1
Port=3/0/0 (1)
BearerChannel=3/0/0.1
TxDuration=2840 ms
```

```
VoiceTxDuration=0 ms
FaxTxDuration=0 ms
FaxRate=disable bps
FaxRelayMaxJitBufDepth 346
FaxRelayJitterBufOverflow 0
Initial HS Modulation is V.17/long/14400
Recent HS modulation is V.17/short/14400
Number of pages 1
Direction of transmission is Transmit
Num of Packets TX'ed/RX'ed 932/52
Packet loss conceal is 0
Encapsulation protocol is T.38 (UDPTL)
ECM is DISABLED
NoiseLevel=0
ACOMLevel=0
OutSignalLevel=0
InSignalLevel=0
InfoActivity=0
ERLLevel=0
SessionTarget=
ImgPages=0
CallerName=
CallerIDBlocked=False
OriginalCallingNumber=5551234
OriginalCallingOctet=0x80
OriginalCalledNumber=5555678
OriginalCalledOctet=0x80
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0xFF
TranslatedCallingNumber=5551234
TranslatedCallingOctet=0x80
TranslatedCalledNumber=5555678
TranslatedCalledOctet=0x80
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0xFF
GwReceivedCalledNumber=5555678
GwReceivedCalledOctet3=0x80
GwReceivedCallingNumber=5551234
GwReceivedCallingOctet3=0x80
GwReceivedCallingOctet3a=0x0
DSPIdentifier=1/0:0
Telephony call-legs: 1
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 0
MGCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 1
```

次の表に、**show call active fax** コマンドで T.38 ファクスリレーの統計情報を表示した場合の各種フィールド一覧（アルファベット順）と、各フィールドの説明を示します。

表 8: show call active fax コマンドで T.38 ファクスリレー統計情報を表示した場合の重要なフィールドの説明

フィールド	説明
ACOMLevel	現在の ACOM レベルの推定値 (0.1 dB 単位)。ACOM は、G.165 『 <i>General Characteristics of International Telephone Connections and International Telephone Circuits: Echo Cancellers</i> 』 で用いられている用語です。ACOM は、エコーキャンセラによって実現される複合損失 (つまり、当該コールの ERL、ERL 拡張および非線形処理損失の合計) を示します。
BearerChannel	コールを伝送するベアラーチャネルの ID。
ERLLevel	現在の ERL レベルの推定値 (0.1 dB 単位)。
FaxRate	このピアから指定されたダイヤルピアへのファクス送信速度 (ビット毎秒 (bps) 単位)。
FaxRelayJitterBufOverflow	ファクスリレーのジッターバッファ オーバーフロー (ミリ秒単位)。
FaxRelayMaxJitBufDepth	ファクスリレーのジッターバッファの最大深さ (ミリ秒単位)。
FaxTxDuration	このコールのこのピアから音声ゲートウェイへのファクス送信の時間 (ミリ秒単位)。
GwReceivedCalledNumber、 GwReceivedCalledOctet3	ゲートウェイで受信したコール情報。
H323 call-legs	コールタイプ : H.323。
Initial HS Modulation	初期に使用された高速変調。
LogicalIfIndex	このコールにおける論理インターフェイスのインデックス番号。
MGCP call-legs	コールタイプ : Media Gateway Control Protocol (MGCP)
Multicast call-legs	コールタイプ : マルチキャスト。
OriginalCallingNumber、 OriginalCalling Octet、 OriginalCalledNumber、 OriginalCalledOctet、 OriginalRedirectCalledNumber、 OriginalRedirectCalledOctet	発信番号、着信番号、リダイレクト番号およびオクテット 3 に関する元のコール情報。オクテット 3 とは、番号のタイプ、番号計画インジケータ、プレゼンテーションインジケータ、およびリダイレクト理由情報を含む Q.931 の情報要素 (IE) を指します。

フィールド	説明
PeerIfIndex	このピアの音声ポートインデックス番号。ISDN メディアの場合は、当該コールで使用される B チャンネルのインデックス番号となります。
Port	コールを伝送する TDM 音声ポートの識別。
Recent HS Modulation	直近で使用された高速変調。
SIP call-legs	コールタイプ：SIP。
Telephony call-legs	コールタイプ：電話。
Total call-legs	合計コール数。
TranslatedCallingNumber、 TranslatedCallingOctet、 TranslatedCalledNumber、 TranslatedCalledOctet、 TranslatedRedirectCalledNumber、 TranslatedRedirectCalledOctet	トランスレーション済みのコール情報。
TxDuration	このコールにおいて送信パスが当該ピアから音声ゲートウェイまで開いている時間（ミリ秒）。
VoiceTxDuration	このコールの当該ピアから音声ゲートウェイへの音声送信の持続時間（ミリ秒）。

関連コマンド

コマンド	説明
show call active voice	進行中の音声コールのコール情報を表示します。
show call history	コール履歴テーブルを表示します。
show call-router routes	BE のキャッシュ内のダイナミックルートを表示します。
show call-router status	Annex G BE のステータスを表示します。
show voice port	特定の音声ポートの設定情報を表示します。

show call active media

進行中のメディアコールに関するコール情報を表示するには、ユーザー EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show call active media** コマンドを使用します。

show call active media *[[brief] [id identifier] | compact [duration {less seconds | more seconds}]]*

構文の説明		
	brief	(任意) 簡略版のコール情報を表示します。
	id identifier	(任意) <i>identifier</i> に指定した識別子を持つコールのみを表示します。範囲は 1 ~ FFFF の 16 進値です。
	compact	(任意) コールの要約情報を表示します。
	duration	(任意) 指定した期間中のコール履歴を表示します。
	less seconds	(任意) 指定秒数よりも短い時間のコール履歴を表示します。範囲は、1 ~ 2147483647 です。
	more seconds	(任意) 指定秒数よりも短い時間のコール履歴を表示します。範囲は、1 ~ 2147483647 です。

コマンドモード ユーザー EXEC (>) 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.4(15)T	このコマンドが導入されました。
	12.4(18)M	このコマンドが変更されました。キーワード less 、 more および引数 <i>seconds</i> が追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用すると、アクティブコールテーブルの内容を表示できます。このコマンドは、当該ルータを介して現在接続されているメディアコールのコール時間、ダイヤルピア、接続、サービス品質、およびその他のステータスと統計情報に関する情報を表示します。

メディアコールがアクティブでなくなると、そのレコードが保存されます。当該レコードは、**show call history media** コマンドで表示できます。

例

次に、**show call active media** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show call active media
Telephony call-legs: 0
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 0
```

```
Multicast call-legs: 0
Media call-legs: 2
Total call-legs: 2
  GENERIC:
SetupTime=408040 ms
Index=1
PeerAddress=sip:mrpcv2TTSServer@10.5.18.224:5060
PeerSubAddress=
PeerId=2235
PeerIfIndex=185
LogicalIfIndex=0
ConnectTime=408130 ms
CallDuration=00:00:01 sec
CallState=4
CallOrigin=1
ChargedUnits=0
InfoType=speech
TransmitPackets=0
TransmitBytes=0
ReceivePackets=57
ReceiveBytes=9120
VOIP-MEDIA:
ConnectionId[0x6B02FC0C 0xC3511DB 0x8006000B 0x5FDA0EF4]
IncomingConnectionId[0x6B02FC0C 0xC3511DB 0x8006000B 0x5FDA0EF4]
CallID=18
RemoteIPAddress=10.5.18.224
RemoteUDPPort=10000
RemoteSignallingIPAddress=10.5.18.224
RemoteSignallingPort=5060
RemoteMediaIPAddress=10.5.18.224
RemoteMediaPort=10000
RoundTripDelay=0 ms
SelectedQoS=best-effort
tx_DtmfRelay=rtp-nte
FastConnect=FALSE
AnnexE=FALSE
Separate H245 Connection=FALSE
H245 Tunneling=FALSE
SessionProtocol=sipv2
ProtocolCallId=6B0CC055-C3511DB-801BC48C-6A894889@10.5.14.2
SessionTarget=10.5.18.224
OnTimeRvPayout=0
GapFillWithSilence=0 ms
GapFillWithPrediction=0 ms
GapFillWithInterpolation=0 ms
GapFillWithRedundancy=0 ms
HiWaterPayoutDelay=0 ms
LoWaterPayoutDelay=0 ms
TxPakNumber=0
TxSignalPak=0
TxComfortNoisePak=0
TxDuration=0
TxVoiceDuration=0
RxPakNumber=0
RxSignalPak=0
RxComfortNoisePak=0
RxDuration=0
RxVoiceDuration=0
RxOutOfSeq=0
RxLatePak=0
RxEarlyPak=0
RxBadProtocol=0
PlayDelayCurrent=0
PlayDelayMin=0
```

```

PlayDelayMax=0
PlayDelayClockOffset=0
PlayDelayJitter=0
PlayErrPredictive=0
PlayErrInterpolative=0
PlayErrSilence=0
PlayErrBufferOverflow=0
PlayErrRetroactive=0
PlayErrTalkspurt=0
OutSignalLevel=0
InSignalLevel=0
LevelTxPowerMean=0
LevelRxPowerMean=0
LevelBgNoise=0
ERLLevel=0
ACOMLevel=0
ErrRxDrop=0
ErrTxDrop=0
ErrTxControl=0
ErrRxControl=0
Source tg label=test5
ReceiveDelay=0 ms
LostPackets=0
EarlyPackets=0
LatePackets=0
SRTP = off
TextRelay = off
VAD = disabled
CoderTypeRate=g711ulaw
CodecBytes=160
Media Setting=flow-through
CallerName=
CallerIDBlocked=False
OriginalCallingNumber=
OriginalCallingOctet=0x0
OriginalCalledNumber=
OriginalCalledOctet=0x0
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0x0
TranslatedCallingNumber=4085254655
TranslatedCallingOctet=0x21
TranslatedCalledNumber=
TranslatedCalledOctet=0xC1
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0xFF
GwOutpulsedCallingNumber=4085254655
GwOutpulsedCallingOctet3=0x21
GwOutpulsedCallingOctet3a=0x81
MediaInactiveDetected=no
MediaInactiveTimestamp=
MediaControlReceived=
LongDurationCallDetected=no
LongDurCallTimestamp=
LongDurcallDuration=
Username=
  GENERIC:
SetupTime=408050 ms
Index=1
PeerAddress=sip:mrpcv2ASRServer@10.5.18.224:5060
PeerSubAddress=
PeerId=2234
PeerIfIndex=184
LogicalIfIndex=0
ConnectTime=408160 ms

```



```
CallDuration=00:00:03 sec
CallState=4
CallOrigin=1
ChargedUnits=0
InfoType=speech
TransmitPackets=188
TransmitBytes=30080
ReceivePackets=0
ReceiveBytes=0
VOIP-MEDIA:
ConnectionId[0x6B02FC0C 0xC3511DB 0x8006000B 0x5FDA0EF4]
IncomingConnectionId[0x6B02FC0C 0xC3511DB 0x8006000B 0x5FDA0EF4]
CallID=19
RemoteIPAddress=10.5.18.224
RemoteUDPPort=10002
RemoteSignallingIPAddress=10.5.18.224
RemoteSignallingPort=5060
RemoteMediaIPAddress=10.5.18.224
RemoteMediaPort=10002
RoundTripDelay=0 ms
SelectedQoS=best-effort
tx_DtmfRelay=rtp-nte
FastConnect=FALSE
AnnexE=FALSE
Separate H245 Connection=FALSE
H245 Tunneling=FALSE
SessionProtocol=sipv2
ProtocolCallId=6B0E94CD-C3511DB-801DC48C-6A894889@10.5.14.2
SessionTarget=10.5.18.224
OnTimeRvPayout=1000
GapFillWithSilence=0 ms
GapFillWithPrediction=0 ms
GapFillWithInterpolation=1495 ms
GapFillWithRedundancy=0 ms
HiWaterPayoutDelay=100 ms
LoWaterPayoutDelay=95 ms
TxPakNumber=0
TxSignalPak=0
TxComfortNoisePak=0
TxDuration=0
TxVoiceDuration=0
RxPakNumber=0
RxSignalPak=0
RxComfortNoisePak=0
RxDuration=0
RxVoiceDuration=0
RxOutOfSeq=0
RxLatePak=0
RxEarlyPak=0
RxBadProtocol=0
PlayDelayCurrent=0
PlayDelayMin=0
PlayDelayMax=0
PlayDelayClockOffset=0
PlayDelayJitter=0
PlayErrPredictive=0
PlayErrInterpolative=0
PlayErrSilence=0
PlayErrBufferOverflow=0
PlayErrRetroactive=0
PlayErrTalkspurt=0
OutSignalLevel=0
InSignalLevel=0
LevelTxPowerMean=0
```

```

LevelRxPowerMean=0
LevelBgNoise=0
ERLLevel=0
ACOMLevel=0
ErrRxDrop=0
ErrTxDrop=0
ErrTxControl=0
ErrRxControl=0
Source tg label=test5
ReceiveDelay=100 ms
LostPackets=0
EarlyPackets=0
LatePackets=0
S RTP = off
TextRelay = off
VAD = disabled
CoderTypeRate=g711ulaw
CodecBytes=160
Media Setting=flow-through
CallerName=
CallerIDBlocked=False
OriginalCallingNumber=
OriginalCallingOctet=0x0
OriginalCalledNumber=
OriginalCalledOctet=0x0
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0x0
TranslatedCallingNumber=4085254655
TranslatedCallingOctet=0x21
TranslatedCalledNumber=
TranslatedCalledOctet=0xC1
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0xFF
GwOutpulsedCallingNumber=4085254655
GwOutpulsedCallingOctet3=0x21
GwOutpulsedCallingOctet3a=0x81
MediaInactiveDetected=no
MediaInactiveTimestamp=
MediaControlReceived=
LongDurationCallDetected=no
LongDurCallTimestamp=
LongDurcallDuration=
Username=
Telephony call-legs: 0
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Media call-legs: 2
Total call-legs: 2

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 9: show call active media のフィールドの説明

フィールド	説明
Telephony call-legs	コールレコードが利用可能なテレフォニーコールレッグの合計数。
SIP call-legs	コールレコードが使用可能な Session Initiation Protocol (SIP) コールレッグの合計数。

フィールド	説明
H323 call-legs	コールレコードが利用可能な H.323 コールレッグの合計数。
Media	コールを伝送するメディア。コールが（電話による）アクセス側を経由して伝送された場合、エントリーは TELE となります。コールが音声ネットワーク側を経由して伝送された場合、エントリーは ATM、FR（フレームリレー）または HDLC（ハイレベルデータリンク制御）のいずれかとなります。
GENERIC	汎用パラメータまたは共通パラメータ（つまり VoIP コールレッグおよびテレフォニーコールレッグに共通のパラメータ）。
SetupTime	このエントリーに関連付けられたコールの開始時におけるシステム稼働時間の値（ミリ秒）。
Index	ダイヤルピア識別番号。
PeerAddress	当該ピアに関連付けられた宛先パターンまたは宛先番号。
PeerId	当該コールの発信先であるピアテーブルエントリーの ID 値。
PeerIfIndex	このピアの音声ポートインデックス番号。ISDN メディアの場合は、当該コールで使用される B チャンネルのインデックス番号となります。
LogicalIfIndex	このコールにおける論理インターフェイスのインデックス番号。
ConnectTime	コールが接続されていた時間（ミリ秒）。
CallDuration	コールの長さ（時間、分、秒（hh:mm:ss）単位）。
CallOrigin	コールオリジン（応答または発信）。
CallState	コールの現在の状態。
ChargedUnits	システム起動時以降、対象となるピアに適用される課金単位の総数。このフィールドの測定単位は 100 分の 1 秒。
InfoType	このコールの情報タイプ。たとえば、音声またはファクスなど。
TransmitBytes	当該コール中にこのピアが送信したバイト数。
TransmitPackets	当該コール中にこのピアが送信したパケット数。
ReceivePackets	当該コール中にこのピアが受信したパケット数。
ReceiveBytes	当該コール中にこのピアが受信したバイト数。
ReceiveDelay	当該音声コール中における再生 FIFO 遅延の平均値とデコーダ遅延を加算した時間（ミリ秒）。

フィールド	説明
ConnectionId	このゲートウェイコールのグローバルコール ID。
RemoteIPAddress	VoIP コールでのリモートシステムの IP アドレス。
RemoteUDPPort	音声パケットの送信先であるリモートシステムの User Datagram Protocol (UDP) リスナーポート。
SelectedQoS	当該コールに選択された Resource Reservation Protocol (RSVP) の RSVP Quality of Service (QoS)。
SessionTarget	このコールに使用されるピアのセッションターゲット。
OnTimeRvPlayout	当該コールに対して、時間通りに受信したデータからの音声再生の持続時間。アクティブ音声の合計音声再生時間は、OnTimeRvPlayout 値を GapFill 値に加算することで求めることができます。
GapFillWithInterpolation	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、時間的に前後するデータのパラメータまたはサンプルから合成された信号を使って音声信号が再生された時間。
GapFillWithRedundancy	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、利用可能な冗長性パラメータから合成された信号を使って音声信号が再生された時間。
GapFillWithPrediction	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、時間的に先行するデータのパラメータまたはサンプルから合成された信号を使ってその音声信号が再生された時間。このようなプルアウトの例には、G.729 および G.723.1 圧縮アルゴリズムでのフレーム消去方式やフレーム隠蔽方式が挙げられます。
GapFillWithSilence	音声データが失われたか、当該コールの時間内に受信されなかったことが原因で、音声信号が無音に置き換えられた時間。
HiWaterPlayoutDelay	このコール中における最高水準音声の再生 FIFO 遅延 (ミリ秒単位)。
LoWaterPlayoutDelay	このコール中における最低水準音声の再生 FIFO 遅延 (ミリ秒単位)。
CodecBytes	使用コーデックのペイロードサイズ (バイト単位)。
CoderTypeRate	ネゴシエート済みのコーダーレート。この値によって、このコールで関連付けられたコールレグへの音声圧縮またはファクス圧縮の送信レートが指定されます。
InSignalLevel	このコールで使用されるテレフォニー インターフェイスからのアクティブな入力信号レベル。

フィールド	説明
OutSignalLevel	当該コールで使用されるテレフォニーインターフェイスへのアクティブな出力信号レベル。
ERLLevel	このコールの現在のエコー反射減衰量 (ERL) レベル。
ACOMLevel	当該コールの現在の ACOM レベル。ACOM は、エコーキャンセラによって実現される複合損失 (つまり、当該コールのエコー反射減衰量、エコー反射減衰量拡張および非線形処理損失の合計) を示します。
PeerSubAddress	当該コール接続時のサブアドレス。
RoundTripDelay	当該コールの IP バックボーン上におけるローカルシステムとリモートシステム間での音声パケットのラウンドトリップ遅延。
SessionProtocol	IP バックボーンを介したローカルルータとリモートルータ間でのインターネットコールに使用されるセッションプロトコル。
TxDuration	通話時間メディアが TELE の場合にのみ表示されます。
VAD	このコールで音声アクティベーション検出 (VAD) が有効になっているかどうか。

関連コマンド

コマンド	説明
show call history media	コール履歴テーブルを表示します。

show call active total-calls

進行中のコールの合計数を表示するには、ユーザー EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show call active total-calls** コマンドを使用します。

show call active total-calls

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

ユーザー EXEC (>)

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

15.3(3)M このコマンドが導入されました。

例

次の例は、合計アクティブコール数の表示方法を示しています。

```
Device# show call active total-calls
Total Number of Active Calls : 110
```

show call active video

Signaling Connection Control Protocol (SCCP)、Session Initiation Protocol (SIP) および進行中の H.323 ビデオコールのコール情報を表示するには、ユーザー EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show call active video** コマンドを使用します。

show call active video [{**brief**] [**id** *call-identifier*] | **compact** [**duration** {**less** | **more**} *seconds*] | **echo-canceller** *call-id* | **session-id** *WORD* | **stats**}]

構文の説明

brief	(任意) アクティブなビデオコールに関する簡略版のコール情報を表示します。
id <i>call-identifier</i>	(任意) 指定した識別子を持つビデオコールのみを表示します。範囲は 1 ~ FFFF です。
compact	(任意) アクティブなビデオコールに関する要約情報を表示します。
duration	(任意) 指定した期間中のコール履歴を表示します。
less	指定秒数よりも短い時間のコール履歴を表示します。
more	指定秒数よりも長い時間のコール履歴を表示します。
<i>seconds</i>	秒単位での時間。範囲は、1 ~ 2147483647 です。
echo-canceller <i>call-id</i>	(任意) 拡張エコーキャンセラ (EC) の状態に関する情報を表示します。範囲は 0 ~ FFFFFFFF です。
session-id <i>WORD</i>	(任意) 特定のセッション ID の詳細なセッション識別子を表示します。 <i>WORD</i> には、localUUID、RemoteUUID または完全な Session-Id ヘッダー文字列に一致するワイルドカードパターンを指定します。有効なワイルドカードパターンには、*、[0-9]、[a-f]、[A-F] のいずれかの文字を 1 つ以上組み合わせて使用できます。
stats	(任意) DSP 統計およびビデオ品質メトリックに関する情報を表示します。

コマンドモード

ユーザー EXEC (>) 特権 EXEC (#)

コマンド履歴

Cisco IOS リリース	シスコ製品	変更内容
12.4(4)XC	Cisco Unified CME 4.0	このコマンドが導入されました。
12.4(9)T	Cisco Unified CME 4.0	このコマンドが、Cisco IOS リリース 12.4(9)T に組み込まれました。

Cisco IOS リリース	シスコ製品	変更内容
12.4(11)T	--	このコマンドが変更されました。SIP コールおよび H.323 コールに対するサポートが追加されました。
12.4(16)、12.4(15)T	--	このコマンドが変更されました。コマンド出力内の TELE コールレグレコードに、表示フィールド Port および BearerChannel が追加されました。
15.1(4)M	Cisco Unified CME 8.6	このコマンドが変更されました。 stats キーワードが追加されました。
Cisco IOS 15.6(2)T Cisco IOS XE Denali 16.3.1	--	このコマンドが変更されました。 <ul style="list-style-type: none"> • キーワード session-id が追加されました。 • show call active video brief コマンド出力が拡張され、VRF およびセッション ID の詳細が表示されるようになりました。 • show call active video compact コマンド出力が拡張され、VRF の詳細が表示されるようになりました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用すると、アクティブなビデオ コール テーブルの内容を表示できます。

エコー状態を出力する前に、16 進数の ID を把握しておく必要があります。16 進数の ID を確認するには、**show call active video brief** コマンドを使用します。

例

次に、**show call active video brief** コマンドの出力例を示します。

```
Router # show call active video brief
<ID>: <CallID> <start>ms.<index> (<start>) +<connect> pid:<peer_id> <dir> <addr> <state>

    dur hh:mm:ss tx:<packets>/<bytes> rx:<packets>/<bytes> dscp:<packets violation>
media:<packets violation> audio tos:<audio tos value> video tos:<video tos value>
IP <ip>:<udp> rtt:<time>ms pl:<play>/<gap>ms lost:<lost>/<early>/<late>
    delay:<last>/<min>/<max>ms <codec> <textrelay> <transcoded>

media inactive detected:<y/n> media cntrl rcvd:<y/n> timestamp:<time>

long duration call detected:<y/n> long duration call duration :<sec> timestamp:<time>
LostPacketRate:<%> OutOfOrderRate:<%>
LocalUUID: <%> RemoteUUID: <%>
VRF:<%>
    MODEMPASS <method> buf:<fills>/<drains> loss <overall%> <multipkt>/<corrected>
        last <buf event time>s dur:<Min>/<Max>s
FR <protocol> [int dlci cid] vad:<y/n> dtmf:<y/n> seq:<y/n>
    <codec> (payload size)
ATM <protocol> [int vpi/vci cid] vad:<y/n> dtmf:<y/n> seq:<y/n>
    <codec> (payload size)
Tele <int> (callID) [channel_id] tx:<tot>/<v>/<fax>ms <codec> noise:<l> acom:<l>
i/o:<l>/<l> dBm
    MODEMRELAY info:<rcvd>/<sent>/<resent> xid:<rcvd>/<sent> total:<rcvd>/<sent>/<drops>
```



```

        speeds(bps): local <rx>/<tx> remote <rx>/<tx>
Proxy <ip>:<audio udp>,<video udp>,<tcp0>,<tcp1>,<tcp2>,<tcp3> endpt: <type>/<manf>
bw: <req>/<act> codec: <audio>/<video>
tx: <audio pkts>/<audio bytes>,<video pkts>/<video bytes>,<t120 pkts>/<t120 bytes>
rx: <audio pkts>/<audio bytes>,<video pkts>/<video bytes>,<t120 pkts>/<t120 bytes>

Telephony call-legs: 0
SIP call-legs: 1
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 1
11EC : 2 798700ms.1 (*12:49:45.019 IST Tue Jan 12 2016) +2010 pid:441 Answer sipp connected

dur 00:00:50 tx:0/0 rx:0/0 dscp:0 media:0 audio tos:0xB8 video tos:0x0
IP 10.64.86.70:6005 SRTP: off rtt:0ms pl:0/0ms lost:0/0/0 delay:0/0/0ms g711ulaw
TextRelay: off Transcoded: No ICE: Off
media inactive detected:n media contrl rcvd:n/a timestamp:n/a
long duration call detected:n long duration call duration:n/a timestamp:n/a
LostPacketRate:0.00 OutOfOrderRate:0.00
LocalUUID : ab30317f1a784dc48ff824d0d3715d86
RemoteUUID : 47755a9de7794ba387653f2099600ef2
VRF: VRF1

Telephony call-legs: 0
SIP call-legs: 1
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 1

```

次に、**show call active video** コマンドの出力例を示します。

```

Router# show call active video
Telephony call-legs: 4
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 2
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 6
  GENERIC:
SetupTime=169281770 ms
Index=2
PeerAddress=
PeerSubAddress=
PeerId=0
PeerIfIndex=0
LogicalIfIndex=0
ConnectTime=169281770 ms
CallDuration=01:20:44 sec
CallState=2
CallOrigin=1
ChargedUnits=0
InfoType=speech
TransmitPackets=819728
TransmitBytes=571031017
ReceivePackets=796308
ReceiveBytes=566120602
VOIP:
ConnectionId[0x0 0x0 0x0 0x0]

```

```

IncomingConnectionId[0x0 0x0 0x0 0x0]
CallID=85
GlobalCallId=[0x0 0x0 0x0 0x0]
CallReferenceId=25666520
CallServiceType=Video Conference
RTP Loopback Call=FALSE
sessionIDLocaluuid=6f0a93a3a79451aeb6d83f79a3359f
sessionIDRemoteuuid=a55b0f45861551b88f57d1fb5bb23f89
RemoteIPAddress=0.0.0.0 RemoteUDPPort=2000
RemoteSignallingIPAddress=0.0.0.0
RemoteSignallingPort=0
RemoteMediaIPAddress=1.4.211.39
RemoteMediaPort=2000
RoundTripDelay=0 ms
SelectedQoS=best-effort
tx_DtmfRelay=inband-voice
FastConnect=FALSE
AnnexE=FALSE
Separate H245 Connection=FALSE
H245 Tunneling=FALSE
SessionProtocol=other
ProtocolCallId= sipv2
SessionTarget= 1.4.211.39
SafEnabled=FALSE
OnTimeRvPayout=0
GapFillWithSilence=0 ms
GapFillWithPrediction=0 ms
GapFillWithInterpolation=0 ms
GapFillWithRedundancy=0 ms
HiWaterPayoutDelay=0ms
LoWaterPayoutDelay=0 ms
Video Conferee Statistics ConfereeActualFrameRate=0
ConfereeActualBitrate=934600
ConfereeTotalRxPackets=129853
ConfereeTotalRxBytes=125825024
ConfereeTotalTxPackets=129853
ConfereeTotalTxBytes=125825085
ConfereeTotalPacketsDropped=313
ConfereeCurrentPacketsDropped=0
ConfereeTotalPacketsOutOfOrder=296
ConfereeCurrentPacketsOutOfOrder=0
ConfereeMaxJitter=0 ConfereeCurJitter=0
ConfereeMaxDelay=0
ConfereeCurDelay=0
ConfereeMaxOutOfSyncDelay=0
ConfereeCurrentOutOfSyncDelay=0
ConfereeFastVideoUpdateRate=0
ConfereeVideoDuration=1076
Video Quality Scores RxVideoMOSInstant=78/100 (Good)
RxVideoMOSAverage=70/100 (Good)
VIDEO: VideoTransmitCodec=H264
VideoTransmitPictureWidth=640
VideoTransmitPictureHeight=480
VideoTransmitFrameRate=30
VideoTransmitBitrate=934600 bps
VideoTransmitLevel=2
VideoTransmitProfile=Baseline
VideoTransmitPayloadFormat=RFC3984
VideoTransmitPackets=129853
VideoTransmitBytes=125825085
VideoTransmitDuration=1076 seconds
VideoReceiveCodec=H264
VideoReceivePictureWidth=640
VideoReceivePictureHeight=480

```

```

VideoReceiveFrameRate=30
VideoReceiveBitrate=934600 bps
VideoReceiveLevel=2
VideoReceiveProfile=Baseline
VideoReceivePayloadFormat=RFC3984
VideoReceivePackets=129853
VideoReceiveBytes=125825024
VideoReceiveDuration=1076 seconds
VideoCap_Codec=H264
VideoCap_Format=CUSTOM
VideoCap_PictureWidth=640
VideoCap_PictureHeight=480
VideoCap_FrameRate=30
VideoCap_Bitrate=960000 bps
VideoCap_Level=2
VideoCap_Profile=Baseline
VideoCap_PayloadFormat=RFC3984
VideoLostPackets=0
VideoEarlyPackets=0
VideoLatePackets=0
VideoUsedBandwidth=934600
VideoNumberOfChannels=0
PlayoutMode = undefined
PlayoutInitialDelay=0 ms
ReceiveDelay=0 ms
LostPackets=0
EarlyPackets=0
LatePackets=0
SRTP = off
TextRelay = off
VAD =disabled
CoderTypeRate=h264
CodecBytes=0
Media Setting=flow-around
CallerName=
CallerIDBlocked=False
OriginalCallingNumber=
OriginalCallingOctet=0x0
OriginalCalledNumber=
OriginalCalledOctet=0x0
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0x0
TranslatedCallingNumber=
TranslatedCallingOctet=0x0
TranslatedCalledNumber=
TranslatedCalledOctet=0x0
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0x0
MediaInactiveDetected=no
MediaInactiveTimestamp=
MediaControlReceived=
LongDurationCallDetected=no
LongDurCallTimestamp=
LongDurcallDuration=
Username= MlppServiceDomainNW=0 (none)
MlppServiceDomainID=
PrecedenceLevel=0
(PRECEDENCE_LEVEL_NONE)

```

次に、**show call active video stats** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show call active video stats
```

```

<ID>: <CallID> <start>ms.<index> +<connect> +<disc> pid:<peer_id> <direction> <addr>
dur hh:mm:ss tx:<packets>/<bytes> rx:<packets>/<bytes>
Telephony call-legs: 0
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 1
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 1
0 : 5 *10:54:50.661 PDT Tue Jan 11 2011.2 +0 pid:0 Originate connecting
dur 00:17:27 tx:126342/122451295 rx:126640/122453063
Video Conferee Statistics
ConfereeActualFrameRate=0 ConfereeActualBitrate=934300
ConfereeTotalRxPackets=126166 ConfereeTotalRxBytes=122282402
ConfereeTotalTxPackets=126166 ConfereeTotalTxBytes=122282463
ConfereeTotalPacketsDropped=295 ConfereeCurrentPacketsDropped=0
ConfereeTotalPacketsOutOfOrder=278 ConfereeCurrentPacketsOutOfOrder=0
ConfereeMaxJitter=0 ConfereeCurJitter=0
ConfereeMaxDelay=0 ConfereeCurDelay=0
ConfereeMaxOutOfSyncDelay=0 ConfereeCurrentOutOfSyncDelay=0
ConfereeFastVideoUpdateRate=0 ConfereeVideoDuration=1046
Video Quality Scores
RxVideoMOSInstant=78/100 (Good)
(Compression Degradation: 86%, Network Degradation: 13%, Transcoding Degradation: 0%)
RxVideoMOSAverage=70/100 (Good)
(Compression Degradation: 93%, Network Degradation: 6%, Transcoding Degradation: 0%)

```

次に、**show call active video** コマンドで **compact** キーワードを指定した場合の出力例を示します。

```

Router# show call active video compact
<callID> A/O FAX T<sec> Codec type Peer Address IP R<ip>:<udp> VRF
Total call-legs: 2
10193925 ANS T22 H.264 VOIP-VIDEO P2005 10.0.0.1:18070 VRF1
10193927 ORG T22 H.264 VOIP-VIDEO P3001 11.0.0.1:27008 VRF2

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドをアルファベット順に説明します。

表 10: show call active video のフィールドの説明

フィールド	説明
CallDuration	コールの長さ（時間、分、秒（hh:mm:ss）単位）。
CallState	コールの現在の状態。
Call agent controlled call-legs	テレフォニーエンドポイント（たとえば、トランスコーディングやビデオ会議）ではないデバイスのコールレグを表示します。
ChargedUnits	システム起動時以降、対象となるピアに適用される課金単位の総数。このフィールドの測定単位は 100 分の 1 秒です。
CodecBytes	使用コーデックのペイロードサイズ（バイト単位）。
CoderTypeRate	ネゴシエート済みのコーデックレート。この値によって、このコールに関連付けられたコールレグへの音声圧縮またはファクス圧縮の送信レートが指定されます。

フィールド	説明
ConnectionId	このゲートウェイコールのグローバルコール ID。
ConnectTime	コールが接続されていた時間（ミリ秒（ms）単位）。
EchoCancellerMaxReflector	最大のリフレクタのサイズ（ミリ秒単位）。リフレクタのサイズは、設定したエコーバス容量を超過できません。たとえば 32 ミリ秒に設定されている場合、リフレクタは 32 ミリ秒を超えて報告しません。
ERLLevel	このコールの現在のエコー反射減衰量（ERL）レベル。
FaxTxDuration	このコールのこのピアから音声ゲートウェイへのファクス送信の時間（ミリ秒）。FaxTxDuration の値を TxDuration の値で割ることにより、そのファクスの使用率を導き出すことができます。
GapFillWithInterpolation	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、時間的に前後するデータのパラメータまたはサンプルから合成された信号を使って音声信号が再生された時間（ミリ秒）。
GapFillWithRedundancy	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、利用可能な冗長性パラメータから合成された信号を使って音声信号が再生された時間（ミリ秒）。
GapFillWithPrediction	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、時間的に先行するデータのパラメータまたはサンプルから合成された信号を使ってその音声信号が再生された時間（ミリ秒）。このようなプリアウトの例には、G.729 および G.723.1 圧縮アルゴリズムでのフレーム消去方式やフレーム隠蔽方式が挙げられます。
GapFillWithSilence	音声データが失われたか、当該コールの時間内に受信されなかったことが原因で、音声信号が無音に置き換えられた時間（ミリ秒）。
GENERIC	汎用パラメータまたは共通パラメータ（つまり VoIP コールレグおよびテレフォニーコールレグに共通のパラメータ）。
H320CallType	利用可能な H320 コールタイプの合計。
H323 call-legs	コールレコードが利用可能な H.323 コールレグの合計数。
HiWaterPlayoutDelay	このコール中における最高水準音声の再生先入れ先出し（FIFO）遅延（ミリ秒単位）。
Index	ダイヤルピア識別番号。

フィールド	説明
InfoActivity	このコールのアクティブ情報転送アクティビティ状態。
InfoType	このコールの情報タイプ。たとえば、音声、音声入力またはファクスなど。
InSignalLevel	このコールで使用されるテレフォニーインターフェイスからのアクティブな入力信号レベル。
Last Buffer Drain/Fill Event	前回のジッターバッファドレインイベントまたはジッターバッファ占有イベントからの経過時間（秒単位）。
LocalHostname	ローカルで生成されたゲートウェイ URL に使用されるローカルホスト名。
LogicalIfIndex	このコールにおける論理インターフェイスのインデックス番号。
LoWaterPlayoutDelay	このコール中における最低水準音声の再生 FIFO 遅延（ミリ秒単位）。
LowerIFName	物理下位インターフェイスの情報。メディアが ATM、フレームリレー（FR）またはハイレベルデータリンクコントロール（HDLC）の場合にのみ表示されます。
Media	コールを伝送するメディア。コールが（電話による）アクセス側を経由して伝送された場合、エント리는 TELE となります。コールが音声ネットワーク側を経由して伝送された場合、エント리는 ATM、FR または HDLC のいずれかとなります。
Multicast call-legs	コールレコードが利用可能なマルチキャストコールレッグの合計数。
NoiseLevel	当該コールのアクティブノイズレベル。
OnTimeRvPlayout	当該コールに対して、時間通りに受信したデータからの音声再生の持続時間。アクティブ音声の合計音声再生時間は、OnTimeRvPlayout 値を GapFill 値に加算することで求めることができます。
OutSignalLevel	当該コールで使用されるテレフォニーインターフェイスへのアクティブな出力信号レベル。
PeerAddress	当該ピアに関連付けられた宛先パターンまたは宛先番号。
PeerId	当該コールの発信先であるピアテーブルエントリの ID 値。
PeerIfIndex	このピアの音声ポートインデックス番号。ISDN メディアの場合は、当該コールで使用される B チャンネルのインデックス番号となります。

フィールド	説明
PeerSubAddress	当該コール接続時のサブアドレス。
ReceiveBytes	当該コール中にこのピアが受信したバイト数。
ReceiveDelay	当該音声コール中における再生 FIFO 遅延の平均値とデコーダ遅延を加算した時間（ミリ秒）。
ReceivePackets	当該コール中にこのピアが受信したパケット数。
RemoteIPAddress	VoIP コールでのリモートシステムの IP アドレス。
RemoteUDPPort	音声パケットの送信先であるリモートシステムの User Datagram Protocol (UDP) リスナーポート。
RoundTripDelay	当該コールの IP バックボーン上におけるローカルシステムとリモートシステム間での音声パケットのラウンドトリップ遅延（ミリ秒）。
SCCP call-legs	SCCP テレフォニーエンドポイントのコールレッグ数。
SelectedQoS	当該コールに選択された Resource Reservation Protocol (RSVP) の RSVP Quality of Service (QoS)。
SessionIDLocaluuid	発信元のユーザーエージェントで生成された UUID。
SessionIDRemoteuuid	終端ユーザーエージェントで生成された UUID。
SessionProtocol	IP バックボーンを介したローカルルータとリモートルータ間でのインターネットコールに使用されるセッションプロトコル。
SessionTarget	このコールに使用されるピアのセッションターゲット。
SetupTime	このエントリに関連付けられたコールの開始時におけるシステム稼働時間の値（ミリ秒）。
SIP call-legs	コールレコードが利用可能な SIP コールレッグの合計数。
Telephony call-legs	コールレコードが利用可能なテレフォニーコールレッグの合計数。
Total call-legs	当該コールの合計コールレッグ数。
TransmitBytes	当該コール中にこのピアが送信したバイト数。
TransmitPackets	当該コール中にこのピアが送信したパケット数。
TxDuration	通話時間メディアが TELE の場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
VAD	このコールで音声アクティベーション検出 (VAD) が有効になっているかどうか。
VideoCap_Annex	当該ビデオストリームの拡張子 (たとえば末尾番号 D1 や E など)。
VideoCap_Bitrate	当該ビデオストリームのネゴシエート済みビットレート (たとえば 128000 b/s など)。
VideoCap_Codec	アクティブなビデオコールのコーデック。
VideoCap_Format	アクティブなビデオコールのビデオフォーマット。
VideoCap_FrameRate	当該ビデオストリームのネゴシエート済みフレームレート (たとえば 15 f/s や 30 f/s など)。
VideoCap_PictureHeight	ビデオ解像度 (縦)。
VideoCap_PictureWidth	ビデオ解像度 (横)。
VideoEarlyPackets	ビデオコールの早期パケット数。
VideoLatePackets	ビデオコールの遅延パケット数。
VideoLostPackets	ビデオコールの損失パケット数。
VideoNumberOfChannels	ビデオコールで使用されたチャンネル数。
Video Quality Score	<p>各アクティブコールレグあたりの平均オピニオン評点 (MOS) の即時値および平均値。MOS スコアは、圧縮歪みに起因したビデオ品質低下、およびパケットロスに起因したビデオ品質低下に基づいて決定されます。MOS スコアの尺度は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Excellent-- (80~100) • Good-- (60~80) • Fair-- (40~60) • Poor-- (20~40) • Bad-- (0~20)
VideoReceiveBytes	当該ビデオコールで受信したバイト数。
VideoReceiveCodec	受信側ストリームで使用されるビデオコーデックのタイプ。
VideoReceivePackets	当該ビデオコールで受信したパケット数。
VideoTransmitBytes	当該ビデオコールで送信したバイト数。

フィールド	説明
VideoTransmitCodec	送信側ストリームで使用されるビデオコーデックのタイプ。
VideoTransmitPackets	当該ビデオコールで送信したパケット数。
VideoUsedBandwidth	ビデオコールに使用される帯域幅 (kbps 単位)。
VoiceTxDuration	このコールの当該ピアから音声ゲートウェイへの音声送信の持続時間 (ミリ秒)。VoiceTxDuration の値を TxDuration の値で割ることにより、音声使用率を導き出すことができます。

関連コマンド

コマンド	説明
show call history video	SCCP ビデオコールのコール履歴情報を表示します。

show call active voice

進行中の音声コールに関するコール情報を表示するには、ユーザー EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show call active voice** コマンドを使用します。

```
show call active voice [{brief} [{long-dur-call-inactive | media-inactive}] [{called-number
number | calling-number number}] [id call-identifier] | compact [duration {less | more} seconds]
| dest-route-string tag | echo-canceller {hexadecimal-id | port slot-number | summary} | long-dur-call
[{called-number number | calling-number number}] | redirect tbct | session-id word | stats}]
```

Cisco IOS リリース 12.2(33)SXH および後続の各種 12.2SX リリース用のシンタックス
show call active [brief]

構文の説明

brief	(任意) 簡略版のコール情報を表示します。
long-dur-call-inactive	(任意) 検出かつ通知された長時間コールを表示します。
media-inactive	(任意) 検出された非アクティブメディアに関する情報を表示します。
called-number <i>number</i>	(任意) 特定の着信番号パターンを表示します。
calling-number <i>number</i>	(任意) 特定の発信番号パターンを表示します。
id <i>call-identifier</i>	(任意) 指定した <i>call-identifier</i> を持つコールのみを表示します。範囲は 1 ~ FFFF です。
compact	(任意) コールの要約情報を表示します。
duration	(任意) 指定した期間中のコール履歴を表示します。
less <i>seconds</i>	(任意) 指定秒数よりも短い時間のコール履歴を表示します。範囲は、1 ~ 2147483647 です。
more <i>seconds</i>	(任意) 指定秒数よりも長い時間のコール履歴を表示します。範囲は、1 ~ 2147483647 です。
dest-route-string <i>tag</i>	(任意) 指定した <i>tag</i> 値を持つコールのみを表示します。範囲は 1 ~ 10000 です。
echo-canceller	(任意) 拡張エコーキャンセラ (EC) の状態に関する情報を表示します。
<i>hexadecimal-id</i>	16進値で示される、アクティブ音声コールの ID。有効な範囲は 0x0 ~ 0xFFFFFFFF です。

port slot-number	指定したアクティブ音声ポートの EC に関する詳細情報を表示します。範囲は、各ルータで使用可能な音声ポートによって異なります。
summary	すべてのアクティブ音声ポートの EC に関する要約情報を表示します。
long-dur-call	(任意) 検出かつ通知された長時間コールを表示します。
redirect	(任意) リリース-to-Pivot (RTPvt) または Two B-Channel Transfer (TBCT) を使用してリダイレクトされているアクティブコールに関する情報を表示します。
tbct	TBCT コールに関する情報を表示します。
session-id WORD	(任意) 特定のセッション ID の詳細なセッション識別子を表示します。WORD には、localUUID、RemoteUUID または完全な Session-Id ヘッダー文字列に一致するワイルドカードパターンを指定します。有効なワイルドカードパターンには、*、[0-9]、[a-f]、[A-F] のいずれかの文字を 1 つ以上組み合わせて使用できます。
stats	(任意) デジタルシグナル処理 (DSP) の音声品質メトリックに関する情報を表示します。

コマンドモード

ユーザー EXEC (>) 特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
11.3(1)T	このコマンドが導入されました。
12.0(3)XG	このコマンドが変更されました。Voice over Frame Relay (VoFR) のサポートが追加されました。
12.0(4)XJ	このコマンドが、Cisco AS5300 のストア アンド フォワード ファクスに導入されました。
12.0(4)T	このコマンドが Cisco 7200 シリーズに導入されました。
12.0(7)XK	このコマンドが Cisco MC3810 に導入されました。
12.1(3)T	このコマンドが、Cisco AS5300 の VoIP を介したモデムパススルーに導入されました。
12.1(5)XM	このコマンドが Cisco AS5800 に導入されました。
12.1(5)XM2	このコマンドが Cisco AS5350 および Cisco AS5400 に導入されました。
12.2(2)XB1	このコマンドが Cisco AS5850 に導入されました。

リリース	変更内容
12.2(8)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.2(8)T に統合されました。このリリースでは、Cisco AS5300、Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 のサポートは含まれていませんでした。
12.2(11)T	Cisco AS5300、Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 に対するサポートが追加されました。
12.2(13)T	このコマンドが変更されました。 echo-canceller キーワードが追加されました。コマンド出力が変更され、拡張 EC を使用している場合、リフレクタのロケーションが追加されて、最大リフレクターのロケーションが表示されるようになりました。
12.3(1)	このコマンドが変更されました。 redirect キーワードが追加されました。
12.3(4)T	このコマンドが変更されました。キーワード called-number 、 calling-number および media-inactive が追加されました。
12.3(14)T	このコマンドが変更されました。Skinny Client Control Protocol (SCCP)、SCCP テレフォニー制御アプリケーション (STCAPP) およびモデムパススルートラフィックに関連する新しい出力が追加されました。
12.4(2)T	このコマンドが変更されました。VoIP コールレグ記録に新たな表示フィールド LocalHostname が追加されたほか、コマンド出力が拡張されて、モデムリレーの物理層プロトコルおよびエラー訂正プロトコルが表示されるようになりました。
12.4(4)T	このコマンドが変更されました。 long-dur-call キーワードが追加されました。
12.4(11)XW	このコマンドが変更されました。 stats キーワードが追加されました。
12.4(15)T	このコマンドが変更されました。コマンド出力内の TELE コールレグレコードに、表示フィールド Port および BearerChannel が追加されました。
12.2(33)SXH	このコマンドが、Cisco IOS リリース 12.2(33)SXH に統合されました。
12.4(16)	このコマンドが変更されました。コマンド出力内の TELE コールレグレコードに、表示フィールド Port および BearerChannel が追加されました。
12.4(22)T	このコマンドが変更されました。コマンド出力が更新され、IPv6 情報が表示されるようになりました。

リリース	変更内容
15.3(3)M	このコマンドが変更されました。 dest-route-string キーワードが追加されました。
Cisco IOS XE リリース 3.10S	このコマンドが Cisco IOS XE リリース 3.10S に統合されました。
Cisco IOS 15.6(2)T Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが変更されました。 <ul style="list-style-type: none"> • キーワード session-id が追加されました。 • show call active voice brief コマンド出力が拡張され、VRF およびセッション ID の詳細が表示されるようになりました。 • show call active voice compact コマンド出力が拡張され、VRF の詳細が表示されるようになりました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用すると、アクティブ音声コールテーブルの内容を表示できます。このコマンドは、当該ルータを介して現在接続されている音声コールのコール時間、ダイヤルピア、接続、サービス品質、およびその他のステータスと統計情報に関する情報を表示します。

エコー状態を出力する前に、16 進数の ID を把握しておく必要があります。この 16 進数の ID を確認するには、**show call active voice brief** コマンドを入力するか、**show voice call status** コマンドを使用します。

拡張 EC が存在している状態で **show call active voice** コマンドを実行すると、Ditech EC_CHAN_CTRL 構造の内容が表示されます。次の表に、EC_CHAN_CTRL 構造に含まれる各種フィールドの名前と説明を示します。この表には、このコマンドに関連付けられている情報タイプも一覧表示されています。

show call active voice dest-route-string コマンドを使用すると、グローバルレベルまたはダイヤルピア別に **destination-route-string** を指定してコールルーティングが設定されたアクティブ音声コールのみを表示できます。

表 11: EC_CHAN_CTRL のフィールドの説明

記号	フィールド	説明
BYPO	Channel bypass	<ul style="list-style-type: none"> • 1 = 透過的バイパス。EC は無効になっています。 • 0 = キャンセル。EC は有効になっています。

記号	フィールド	説明
TAIL3	Max tail	<ul style="list-style-type: none"> • 0 = 24 ミリ秒。 • 1 = 32 ミリ秒。 • 2 = 48 ミリ秒。 • 3 = 64 ミリ秒。 <p>(注) このフィールドは、ラウンドトリップで想定される最長テール遅延よりもわずかに高い値に設定する必要があります。</p>
REC3	Residual echo control	<ul style="list-style-type: none"> • 0 = キャンセルのみ。エコーは線形プロセスによる処理結果です。非線形処理は適用されません。 • 1 = 残余エコー抑制。残余エコーがゼロになります。単純な非線形処理が適用されます（通話中に「無音時間」が発生する可能性があります）。 • 2 = 予約済み。 • 3 = コンフォートノイズを生成します（デフォルト）。
FRZ0	h-register hold	1 = h レジスタをフリーズします。テスト用途で使用されます。
HZ0	h-register clear	このビット設定でチャンネルコマンドを送信すると、h レジスタがクリアされます。
TD3	Modem tone disable	<ul style="list-style-type: none"> • 0 = 2100 Hz モデム応答トーンを無視します。 • 1 = G.164 モード（2100 Hz トーンの場合はキャンセラをバイパスします）。 • 2 = R。 • 3 = G.165 モード（位相反転トーンの場合のみキャンセラをバイパスします）。
ERL0	Echo return loss	<ul style="list-style-type: none"> • 0 = 6 デシベル (dB) 。 • 1 = 3 dB。 • 2 = 0 dB。 • 3 = R。キャンセラがまだ機能する最悪状況下でのエコー反射減衰量 (ERL) 。

記号	フィールド	説明
HLC1	High level compensation	<ul style="list-style-type: none"> • 0 = 減衰なし。 • 1 = クリッピングが発生した場合 6 dB。音量の大きい回線では、クリッピングが発生した場合、受信方向で 6 dB の減衰がかけられる可能性があります。
R0	Reserved	今後のリリースとの互換性を確保するため、この値は 0 に設定されている必要があります。

show call active voice redirect thct コマンドを使用すると、RTPvt または TBCT を実装しているアクティブコールをすべてモニタリングできます。

コールがアクティブでなくなると、そのレコードが保存されます。当該レコードは、**show call history voice** コマンドで表示できます。

例

次に、**show call active voice** コマンドでモデムリレートラフィックを表示した出力例を示します。

```
Router# show call active voice
Modem Relay Local Rx Speed=0 bps
Modem Relay Local Tx Speed=0 bps
Modem Relay Remote Rx Speed=0 bps
Modem Relay Remote Tx Speed=0 bps
Modem Relay Phy Layer Protocol=v34
Modem Relay Ec Layer Protocol=v14
SPRTInfoFramesReceived=0
SPRTInfoTxFramesSent=0
SPRTInfoTxFramesResent=0
SPRTXidFramesReceived=0
SPRTXidFramesSent=0
SPRTTotalInfoBytesReceived=0
SPRTTotalInfoBytesSent=0
SPRTPacketDrops=0
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 12: show show call active voice のフィールドの説明

フィールド	説明
Modem Relay Local Rx Speed	ローカルモデムリレーのダウンロード速度（ビット/秒単位）。
Modem Relay Local Tx Speed	ローカルモデムリレーのアップロード速度。
Modem Relay Remote Rx Speed	リモートモデムリレーのダウンロード速度。
Modem Relay Remote Tx Speed	リモートモデムリレーのアップロード速度。
Modem Relay Phy Layer Protocol	モデムリレーの物理プロトコル。

フィールド	説明
Modem Relay Ec Layer Protocol	モデムリレーの EC 層プロトコル。
SPRTInfoFramesReceived	受信した Simple Packet Relay Transport (SPRT) プロトコルフレームの合計数。
SPRTInfoTFramesSent	送信した SPRT フレームの合計数。
SPRTInfoTFramesResent	再送信した SPRT フレームの合計数。
SPRTXidFramesReceived	受信した SPRTS ID フレームの合計数。
SPRTXidFramesSent	送信した SPRTS ID フレームの合計数。
SPRTTotalInfoBytesReceived	受信した合計 SPRT バイト数。
SPRTTotalInfoBytesSent	送信した合計 SPRT バイト数。
SPRTPacketDrops	ドロップされた SPRT パケットの合計数。

次に、**show call active voice** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show call active voice
Telephony call-legs: 1
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 1
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 2
  GENERIC:
SetupTime=1072620 ms
Index=1
PeerAddress=9193927582
PeerSubAddress=
PeerId=8
PeerIfIndex=19
LogicalIfIndex=0
ConnectTime=1078940 ms
CallDuration=00:00:51 sec
CallState=4
CallOrigin=2
ChargedUnits=0
InfoType=speech
TransmitPackets=1490
TransmitBytes=0
ReceivePackets=2839
ReceiveBytes=56780
VOIP:
ConnectionId[0xE28B6D1D 0x3D9011D6 0x800400D0 0xBA0D97A1]
IncomingConnectionId[0xE28B6D1D 0x3D9011D6 0x800400D0 0xBA0D97A1]
CallID=1
sessionIDLocaluuid=4fd24d9121935531a7f8d750ad16e19
sessionIDRemoteuuid=db248b6cbdc547bbc6c6fdb6916eeb
RemoteIPAddress=10.44.44.44 RemoteUDPPort=17096
RemoteSignallingIPAddress=10.44.44.44
RemoteSignallingPort=56434
```



```
RemoteMediaIPAddress=10.44.44.44
RemoteMediaPort=17096
RoundTripDelay=6 ms
SelectedQoS=best-effort
tx_DtmfRelay=h245-signal
FastConnect=TRUE AnnexE=FALSE
Separate H245 Connection=FALSE
H245 Tunneling=TRUE SessionProtocol=cisco
ProtocolCallId= sipv2
SessionTarget= 10.44.44.44
OnTimeRvPlayout=54160
GapFillWithSilence=0 ms
GapFillWithPrediction=0 ms
GapFillWithInterpolation=0 ms
GapFillWithRedundancy=0 ms
HiWaterPlayoutDelay=70 ms
LoWaterPlayoutDelay=60 ms
TxPakNumber=1490
TxSignalPak=0
TxComfortNoisePak=1
TxDuration=54240
TxVoiceDuration=29790
RxPakNumber=2711
RxSignalPak=0
RxDuration=0
TxVoiceDuration=54210
VoiceRxDuration=54160
RxOutOfSeq=0
RxLatePak=0
RxEarlyPak=0
PlayDelayCurrent=60
PlayDelayMin=60
PlayDelayMax=70
PlayDelayClockOffset=212491899
PlayDelayJitter=0 ms
PlayErrPredictive=0
PlayErrInterpolative=0
PlayErrSilence=0
PlayErrBufferOverflow=10
PlayErrRetroactive=0
PlayErrTalkspurt=0
OutSignalLevel=-57
InSignalLevel=-51
LevelTxPowerMean=0
LevelRxPowerMean=-510
LevelBgNoise=0
ERLLevel=16
ACOMLevel=16
ErrRxDrop=0
ErrTxDrop=0
ErrTxControl=0
ErrRxControl=0
ReceiveDelay=60 ms
LostPackets=0
EarlyPackets=0
LatePackets=0
SRTP = off
VAD =enabled
CoderTypeRate=g729r8
CodecBytes=20
Media Setting=flow-through
CallerName=
CallerIDBlocked=False
OriginalCallingNumber=9193927582
```

```

OriginalCallingOctet=0x21
OriginalCalledNumber=93615494
OriginalCalledOctet=0xC1
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0xFF
TranslatedCallingNumber=9193927582
TranslatedCallingOctet=0x21
TranslatedCalledNumber=93615494
TranslatedCalledOctet=0xC1
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0xFF
GwReceivedCalledNumber=93615494
GwReceivedCalledOctet3=0xC1
GwReceivedCallingNumber=9193927582
GwReceivedCallingOctet3=0x21
GwReceivedCallingOctet3a=0x81
MediaInactiveDetected=no
MediaInactiveTimestamp=
MediaControlReceived=
Username= GENERIC:
SetupTime=1072760 ms
Index=1 PeerAddress=93615494
PeerSubAddress=
PeerId=9
PeerIfIndex=18
LogicalIfIndex=4
ConnectTime=1078940 ms
CallDuration=00:00:53 sec
CallState=4
CallOrigin=1
ChargedUnits=0
InfoType=speech
TransmitPackets=2953
TransmitBytes=82684
ReceivePackets=1490
ReceiveBytes=29781 TELE:
ConnectionId=[0xE28B6D1D 0x3D9011D6 0x800400D00xBA0D97A1]
IncomingConnectionId=[0xE28B6D1D 0x3D9011D6 0x800400D0 0xBA0D97A1]
CallID=2
Port=3/0/0 (1)
BearerChannel=3/0/0.2
TxDuration=59080 ms
VoiceTxDuration=29790 ms
FaxTxDuration=0 ms
CoderTypeRate=g729r8
NoiseLevel=-54
ACOMLevel=16
OutSignalLevel=-57
InSignalLevel=-51
InfoActivity=1
ERLLLevel=16
EchoCancellerMaxReflector=8
SessionTarget= ImgPages=0 CallerName=
CallerIDBlocked=False
AlertTimepoint=1073340 ms
OriginalCallingNumber=9193927582
OriginalCallingOctet=0x21
OriginalCalledNumber=93615494
OriginalCalledOctet=0xC1
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0xFF
TranslatedCallingNumber=9193927582
TranslatedCallingOctet=0x21
TranslatedCalledNumber=93615494

```

```

TranslatedCalledOctet=0xC1
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0xFF
GwReceivedCalledNumber=93615494
GwReceivedCalledOctet3=0xC1
GwOutpulsedCalledNumber=93615494
GwOutpulsedCalledOctet3=0xC1
GwReceivedCallingNumber=9193927582
GwReceivedCallingOctet3=0x21
GwReceivedCallingOctet3a=0x81
GwOutpulsedCallingNumber=9193927582
GwOutpulsedCallingOctet3=0x21
GwOutpulsedCallingOctet3a=0x81
DSPIdentifier=3/1:1
Telephony call-legs: 1
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 1
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 2

```

上記の1つ目の表および下の表で、出力に表示される重要なフィールドをアルファベット順に説明しています。

表 13: show call active voice のフィールドの説明

フィールド	説明
CallDuration	コールの長さ（時間、分、秒（hh:mm:ss）単位）。
CallState	コールの現在の状態。
Call agent controlled call-legs	テレフォニーエンドポイント（たとえば、トランスコーディングやビデオ会議）ではないデバイスのコールレグを表示します。
ChargedUnits	システム起動時以降、対象となるピアに適用される課金単位の総数。このフィールドの測定単位は 100 分の 1 秒。
CodecBytes	使用コーデックのペイロードサイズ（バイト単位）。
CoderTypeRate	ネゴシエート済みのコーダレート。この値によって、このコールで関連付けられたコールレグへの音声圧縮またはファクス圧縮の送信レートが指定されます。
ConnectionId	このゲートウェイコールのグローバルコール ID。
ConnectTime	コールが接続されていた時間（ミリ秒単位）。
EchoCancellerMaxReflector	最大のリフレクタのサイズ（ミリ秒単位）。リフレクタのサイズは、設定したエコーパス容量を超過できません。たとえば 32 ミリ秒に設定されている場合、リフレクタは 32 ミリ秒を超えて報告しません。
ERLLevel	このコールの現在のエコー反射減衰量（ERL）レベル。

フィールド	説明
FaxTxDuration	このコールのこのピアから音声ゲートウェイへのファクス送信の時間（ミリ秒）。FaxTxDuration の値を TxDuration の値で割ることにより、そのファクスの使用率を導き出すことができます。
GapFillWithInterpolation	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、時間的に前後するデータのパラメータまたはサンプルから合成された信号を使って音声信号が再生された時間（ミリ秒）。
GapFillWithRedundancy	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、利用可能な冗長性パラメータから合成された信号を使って音声信号が再生された時間（ミリ秒）。
GapFillWithPrediction	音声データが失われたか、当該コールの時間内に音声ゲートウェイから受信されなかったことが原因で、時間的に先行するデータのパラメータまたはサンプルから合成された信号を使ってその音声信号が再生された時間（ミリ秒）。このようなプルアウトの例には、G.729 および G.723.1 圧縮アルゴリズムでのフレーム消去方式やフレーム隠蔽方式が挙げられます。
GapFillWithSilence	音声データが失われたか、当該コールの時間内に受信されなかったことが原因で、音声信号が無音に置き換えられた時間（ミリ秒）。
GENERIC	汎用パラメータまたは共通パラメータ（つまり VoIP コールレッグおよびテレフォニーコールレッグに共通のパラメータ）。
H320CallType	利用可能な H320 コールタイプの合計。
H323 call-legs	コールレコードが利用可能な H.323 コールレッグの合計数。
HiWaterPayoutDelay	このコール中における最高水準音声の再生先入れ先出し（FIFO）遅延（ミリ秒単位）。
Index	ダイヤルピア識別番号。
InfoActivity	このコールのアクティブ情報転送アクティビティ状態。
InfoType	このコールの情報タイプ。たとえば、音声、音声入力またはファクスなど。
InSignalLevel	このコールで使用されるテレフォニー インターフェイスからのアクティブな入力信号レベル。
LogicalIfIndex	このコールにおける論理インターフェイスのインデックス番号。

フィールド	説明
LoWaterPlayoutDelay	このコール中における最低水準音声の再生 FIFO 遅延（ミリ秒単位）。
Media	コールを伝送するメディア。コールが（電話による）アクセス側を経由して伝送された場合、エントリーはTELEとなります。コールが音声ネットワーク側を経由して伝送された場合、エントリーはATM、フレームリレー（FR）またはハイレベルデータリンク制御（HDLC）のいずれかとなります。
Multicast call-legs	コールレコードが利用可能なマルチキャストコールレッグの合計数。
NoiseLevel	当該コールのアクティブノイズレベル。
OnTimeRvPlayout	当該コールに対して、時間通りに受信したデータからの音声再生の持続時間。アクティブ音声の合計音声再生時間は、OnTimeRvPlayout 値を GapFill 値に加算することで求めることができます。
OutSignalLevel	当該コールで使用されるテレフォニー インターフェイスへのアクティブな出力信号レベル。
PeerAddress	当該ピアに関連付けられた宛先パターンまたは宛先番号。
PeerId	当該コールの発信先であるピアテーブルエントリーの ID 値。
PeerIfIndex	このピアの音声ポートインデックス番号。ISDN メディアの場合は、当該コールで使用される B チャンネルのインデックス番号となります。
PeerSubAddress	当該コール接続時のサブアドレス。
ReceiveBytes	当該コール中にこのピアが受信したバイト数。
ReceiveDelay	当該音声コール中における再生 FIFO 遅延の平均値とデコーダ遅延を加算した時間（ミリ秒）。
ReceivePackets	当該コール中にこのピアが受信したパケット数。
RemoteIPAddress	VoIP コールでのリモートシステムの IP アドレス。
RemoteUDPPort	音声パケットの送信先であるリモートシステムの User Datagram Protocol (UDP) リスナーポート。
RoundTripDelay	当該コールの IP バックボーン上におけるローカルシステムとリモートシステム間での音声パケットのラウンドトリップ遅延（ミリ秒）。

フィールド	説明
SCCP call-legs	SCCP テレフォニーエンドポイントのコールレグ数。
SelectedQoS	当該コールに選択された Resource Reservation Protocol (RSVP) の RSVP Quality of Service (QoS)。
SessionIDLocaluuid	発信元のユーザーエージェントで生成された UUID。
SessionIDRemoteuuid	終端ユーザーエージェントで生成された UUID。
SessionProtocol	IP バックボーンを介したローカルルータとリモートルータ間でのインターネットコールに使用されるセッションプロトコル。
SessionTarget	このコールに使用されるピアのセッションターゲット。
SetupTime	このエントリに関連付けられたコールの開始時におけるシステム稼働時間の値 (ミリ秒)。
SIP call-legs	コールレコードが利用可能な SIP コールレグの合計数。
Telephony call-legs	コールレコードが利用可能なテレフォニーコールレグの合計数。
Total call-legs	当該コールの合計コールレグ数。
TransmitBytes	当該コール中にこのピアが送信したバイト数。
TransmitPackets	当該コール中にこのピアが送信したパケット数。
TxDuration	通話時間メディアが TELE の場合にのみ表示されます。
VAD	このコールで音声アクティベーション検出 (VAD) が有効になっているかどうか。
VoiceTxDuration	このコールの当該ピアから音声ゲートウェイへの音声送信の持続時間 (ミリ秒)。VoiceTxDuration の値を TxDuration の値で割ることにより、音声使用率を導き出すことができます。

次に、**show call active voice** コマンドの出力例として、コールエージェント制御コールレグを介した音声トラフィックを表示した例を示します。SCCP テレフォニーエンドポイント (すなわち STCAPP によって制御されている電話機のコールレグ) は、「Call agent controlled call-legs」フィールド下に表示されている点に注意してください (「SCCP call-legs」には、たとえばトランスコーディングや会議など、テレフォニーエンドポイント以外のデバイスのコールレグが表示されます)。

```
Router# show call active voice
Telephony call-legs: 2
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 2
SCCP call-legs: 0
```

```
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 4
  GENERIC:
SetupTime=1557650 ms
Index=1
PeerAddress=
PeerSubAddress=
PeerId=999100
PeerIfIndex=14
LogicalIfIndex=10
ConnectTime=1562040 ms
CallDuration=00:01:01 sec
CallState=4
CallOrigin=2
ChargedUnits=0
InfoType=speech
TransmitPackets=3101
TransmitBytes=519564
ReceivePackets=3094
ReceiveBytes=494572
TELE:
ConnectionId=[0x11B1860C 0x22D711D7 0x8014E4D4 0x8FD15327]
IncomingConnectionId=[0x11B1860C 0x22D711D7 0x8014E4D4 0x8FD15327]
CallID=25
Port=3/0/0 (25)
BearerChannel=3/0/0.1
TxDuration=59670 ms
VoiceTxDuration=59670 ms
FaxTxDuration=0 ms
CoderTypeRate=g711ulaw
NoiseLevel=-12
ACOMLevel=22
OutSignalLevel=-12
InSignalLevel=-11
InfoActivity=1
ERLLevel=22
EchoCancellerMaxReflector=2
SessionTarget=
ImgPages=0
CallerName=
CallerIDBlocked=False
OriginalCallingNumber=
OriginalCallingOctet=0x0
OriginalCalledNumber=
OriginalCalledOctet=0x80
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0x0
TranslatedCallingNumber=
TranslatedCallingOctet=0x0
TranslatedCalledNumber=
TranslatedCalledOctet=0x80
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0x0
DSPIdentifier=1/1:1
  GENERIC:
SetupTime=1559430 ms
Index=1
PeerAddress=7702
PeerSubAddress=
PeerId=999100
PeerIfIndex=14
LogicalIfIndex=11
ConnectTime=1562020 ms
CallDuration=00:01:03 sec
```

```

CallState=4
CallOrigin=1
ChargedUnits=0
InfoType=speech
TransmitPackets=3151
TransmitBytes=528900
ReceivePackets=3158
ReceiveBytes=503876
TELE:
ConnectionId=[0x0 0x0 0x0 0x0]
IncomingConnectionId=[0x0 0x0 0x0 0x0]
CallID=26
Port=3/0/0 (26)
BearerChannel=3/0/0.2
TxDuration=60815 ms
VoiceTxDuration=60815 ms
FaxTxDuration=0 ms
CoderTypeRate=g711ulaw
NoiseLevel=-12
ACOMLevel=28
OutSignalLevel=-12
InSignalLevel=-11
InfoActivity=1
ERLLevel=28
EchoCancellerMaxReflector=2
SessionTarget=
ImgPages=0
CallerName=
CallerIDBlocked=False
AlertTimepoint=1559430 ms
OriginalCallingNumber=
OriginalCallingOctet=0x0
OriginalCalledNumber=
OriginalCalledOctet=0x0
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0x0
TranslatedCallingNumber=7701
TranslatedCallingOctet=0x0
TranslatedCalledNumber=7702
TranslatedCalledOctet=0x0
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0x0
GwOutpulsedCalledNumber=7702
GwOutpulsedCalledOctet3=0x0
GwOutpulsedCallingNumber=7701
GwOutpulsedCallingOctet3=0x0
GwOutpulsedCallingOctet3a=0x0
DSPIdentifier=1/1:2
  GENERIC:
SetupTime=1562040 ms
Index=1
PeerAddress=
PeerSubAddress=
PeerId=0
PeerIfIndex=0
LogicalIfIndex=0
ConnectTime=0 ms
CallDuration=00:00:00 sec
CallState=2
CallOrigin=1
ChargedUnits=0
InfoType=speech
TransmitPackets=3215
TransmitBytes=512996

```



```
ReceivePackets=3208
ReceiveBytes=512812
VOIP:
ConnectionId[0x0 0x0 0x0 0x0]
IncomingConnectionId[0x0 0x0 0x0 0x0]
CallID=27
RemoteIPAddress=10.10.0.0
RemoteUDPPort=17718
RemoteSignallingIPAddress=10.10.0.0
RemoteSignallingPort=0
RemoteMediaIPAddress=10.2.6.10
RemoteMediaPort=17718
RoundTripDelay=0 ms
SelectedQoS=best-effort
tx_DtmfRelay=inband-voice
FastConnect=FALSE
AnnexE=FALSE
Separate H245 Connection=FALSE
H245 Tunneling=FALSE
SessionProtocol=other
ProtocolCallId=
SessionTarget=
OnTimeRvPayout=60640
GapFillWithSilence=0 ms
GapFillWithPrediction=0 ms
GapFillWithInterpolation=0 ms
GapFillWithRedundancy=0 ms
HiWaterPayoutDelay=105 ms
LoWaterPayoutDelay=105 ms
TxPakNumber=3040
TxSignalPak=0
TxComfortNoisePak=0
TxDuration=60815
TxVoiceDuration=60815
RxPakNumber=3035
RxSignalPak=0
RxDuration=0
TxVoiceDuration=60690
VoiceRxDuration=60640
RxOutOfSeq=0
RxLatePak=0
RxEarlyPak=0
PlayDelayCurrent=105
PlayDelayMin=105
PlayDelayMax=105
PlayDelayClockOffset=-1662143961
PlayDelayJitter=0
PlayErrPredictive=0
PlayErrInterpolative=0
PlayErrSilence=0
PlayErrBufferOverflow=0
PlayErrRetroactive=0
PlayErrTalkspurt=0
OutSignalLevel=-12
InSignalLevel=-11
LevelTxPowerMean=0
LevelRxPowerMean=-115
LevelBgNoise=0
ERLLevel=28
ACOMLevel=28
ErrRxDrop=0
ErrTxDrop=0
ErrTxControl=0
ErrRxControl=0
```

```

PlayoutMode = undefined
PlayoutInitialDelay=0 ms
ReceiveDelay=105 ms
LostPackets=0
EarlyPackets=0
LatePackets=0
SRTP = off
VAD = disabled
CoderTypeRate=g711ulaw
CodecBytes=160
Media Setting=flow-around
Modem passthrough signaling method is nse:
Buffer Fill Events = 0
Buffer Drain Events = 0
Percent Packet Loss = 0
Consecutive-packets-lost Events = 0
Corrected packet-loss Events = 0
Last Buffer Drain/Fill Event = 0sec
Time between Buffer Drain/Fills = Min 0sec Max 0sec
CallerName=
CallerIDBlocked=False
OriginalCallingNumber=
OriginalCallingOctet=0x0
OriginalCalledNumber=
OriginalCalledOctet=0x0
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0x0
TranslatedCallingNumber=
TranslatedCallingOctet=0x0
TranslatedCalledNumber=
TranslatedCalledOctet=0x0
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0x0
MediaInactiveDetected=no
MediaInactiveTimestamp=
MediaControlReceived=
Username=
  GENERIC:
SetupTime=1562040 ms
Index=2
PeerAddress=
PeerSubAddress=
PeerId=0
PeerIfIndex=0
LogicalIfIndex=0
ConnectTime=0 ms
CallDuration=00:00:00 sec
CallState=2
CallOrigin=1
ChargedUnits=0
InfoType=speech
TransmitPackets=3380
TransmitBytes=540332
ReceivePackets=3386
ReceiveBytes=540356
VOIP:
ConnectionId[0x0 0x0 0x0 0x0]
IncomingConnectionId[0x0 0x0 0x0 0x0]
CallID=28
RemoteIPAddress=10.0.0.0
RemoteUDPPort=18630
RemoteSignallingIPAddress=10.10.0.0
RemoteSignallingPort=0
RemoteMediaIPAddress=10.2.6.10

```

```
RemoteMediaPort=18630
RoundTripDelay=0 ms
SelectedQoS=best-effort
tx_DtmfRelay=inband-voice
FastConnect=FALSE
AnnexE=FALSE
Separate H245 Connection=FALSE
H245 Tunneling=FALSE
SessionProtocol=other
ProtocolCallId=
SessionTarget=
OnTimeRvPlayout=63120
GapFillWithSilence=0 ms
GapFillWithPrediction=0 ms
GapFillWithInterpolation=0 ms
GapFillWithRedundancy=0 ms
HiWaterPlayoutDelay=105 ms
LoWaterPlayoutDelay=105 ms
TxPakNumber=3158
TxSignalPak=0
TxComfortNoisePak=0
TxDuration=63165
TxVoiceDuration=63165
RxPakNumber=3164
RxSignalPak=0
RxDuration=0
TxVoiceDuration=63165
VoiceRxDuration=63120
RxOutOfSeq=0
RxLatePak=0
RxEarlyPak=0
PlayDelayCurrent=105
PlayDelayMin=105
PlayDelayMax=105
PlayDelayClockOffset=957554296
PlayDelayJitter=0
PlayErrPredictive=0
PlayErrInterpolative=0
PlayErrSilence=0
PlayErrBufferOverflow=0
PlayErrRetroactive=0
PlayErrTalkspurt=0
OutSignalLevel=-12
InSignalLevel=-11
LevelTxPowerMean=0
LevelRxPowerMean=-114
LevelBgNoise=0
ERLLevel=22
ACOMLevel=22
ErrRxDrop=0
ErrTxDrop=0
ErrTxControl=0
ErrRxControl=0
PlayoutMode = undefined
PlayoutInitialDelay=0 ms
ReceiveDelay=105 ms
LostPackets=0
EarlyPackets=0
LatePackets=0
SRTP = off
VAD = disabled
CoderTypeRate=g711ulaw
CodecBytes=160
Media Setting=flow-around
```

```

Modem passthrough signaling method is nse:
Buffer Fill Events = 0
Buffer Drain Events = 0
Percent Packet Loss = 0
Consecutive-packets-lost Events = 0
Corrected packet-loss Events = 0
Last Buffer Drain/Fill Event = 0sec
Time between Buffer Drain/Fills = Min 0sec Max 0sec
CallerName=
CallerIDBlocked=False
OriginalCallingNumber=
OriginalCallingOctet=0x0
OriginalCalledNumber=
OriginalCalledOctet=0x0
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0x0
TranslatedCallingNumber=
TranslatedCallingOctet=0x0
TranslatedCalledNumber=
TranslatedCalledOctet=0x0
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0x0
MediaInactiveDetected=no
MediaInactiveTimestamp=
MediaControlReceived=
Username=
Telephony call-legs: 2
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 2
SCCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 4

```

上記の各表で、この出力に表示される重要なフィールドをアルファベット順に説明しています。

次に示すのは、**show call active voice** コマンドを使用して Service Advertisement Framework (SAF) が使用されているかどうかを表示した出力例です。

```

Router# show call active voice
Total call-legs: 2
GENERIC:
SetupTime=1971780 ms
Index=1
PeerAddress=6046692010
PeerSubAddress=
PeerId=20003
PeerIfIndex=17
.
.
.
VOIP:
SessionProtocol=sipv2
ProtocolCallId=7A9E7D9A-EAD311DC-8036BCC4-6EEE85D6@1.5.6.12
SessionTarget=1.5.6.10
SafEnabled=TRUE
SafTrunkRouteId=1
SafPluginDialpeerTag=8

```

上記の各表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明しています。

次に、**show call active voice** コマンドでファクスリレートラフィックを表示した出力例を示します。

```
Router# show call active voice
Telephony call-legs: 0
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 1
MGCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 1
  GENERIC:
SetupTime=1049400 ms
Index=2
PeerAddress=52930
PeerSubAddress=
PeerId=82
PeerIfIndex=222
LogicalIfIndex=0
ConnectTime=105105
CallDuration=00:00:59
CallState=4
CallOrigin=1
ChargedUnits=0
InfoType=10
TransmitPackets=1837
TransmitBytes=29764
ReceivePackets=261
ReceiveBytes=4079
VOIP:
ConnectionId[0xEB630F4B 0x9F5E11D7 0x8008CF18 0xB9C3632]
IncomingConnectionId[0xEB630F4B 0x9F5E11D7 0x8008CF18 0xB9C3632]
RemoteIPAddress=10.7.95.3
RemoteUDPPort=16610
RemoteSignallingIPAddress=10.7.95.3
RemoteSignallingPort=1720
RemoteMediaIPAddress=10.7.95.3
RemoteMediaPort=16610
RoundTripDelay=13 ms
SelectedQoS=best-effort
tx_DtmfRelay=inband-voice
FastConnect=TRUE
AnnexE=FALSE
Separate H245 Connection=FALSE
H245 Tunneling=TRUE
SessionProtocol=cisco
ProtocolCallId=
SessionTarget=ipv4:10.7.95.3
OnTimeRvPayout=1000
GapFillWithSilence=0 ms
GapFillWithPrediction=0 ms
GapFillWithInterpolation=0 ms
GapFillWithRedundancy=0 ms
HiWaterPayoutDelay=110 ms
LoWaterPayoutDelay=70 ms
ReceiveDelay=70 ms
LostPackets=0
EarlyPackets=1
LatePackets=0
VAD = enabled
CoderTypeRate=t38
CodecBytes=40
Media Setting=flow-through
AlertTimepoint=104972
```

```

CallerName=
CallerIDBlocked=False
OriginalCallingNumber=4085550130
OriginalCallingOctet=0x0
OriginalCalledNumber=52930
OriginalCalledOctet=0xE9
OriginalRedirectCalledNumber=
OriginalRedirectCalledOctet=0x7F
TranslatedCallingNumber=4085550130
TranslatedCallingOctet=0x0
TranslatedCalledNumber=52930
TranslatedCalledOctet=0xE9
TranslatedRedirectCalledNumber=
TranslatedRedirectCalledOctet=0xFF
GwReceivedCalledNumber=52930
GwReceivedCalledOctet3=0xE9
GwOutpulsedCalledNumber=52930
GwOutpulsedCalledOctet3=0xE9
GwReceivedCallingNumber=555-0100
GwReceivedCallingOctet3=0x0
GwReceivedCallingOctet3a=0x80
GwOutpulsedCallingNumber=555-0101
GwOutpulsedCallingOctet3=0x0
GwOutpulsedCallingOctet3a=0x80
Username=
FaxRelayMaxJitterBufDepth = 0 ms
FaxRelayJitterBufOverflow = 0
FaxRelayHSmodulation = 0
FaxRelayNumberOfPages = 0
Telephony call-legs: 0
SIP call-legs: 0
H323 call-legs: 1
MGCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 1

```

上記の各表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明しています。

次に、**show call active voice brief** コマンドの出力例を示します。

```

Router# show call active voice brief

<ID>: <CallID> <start>ms.<index> (<start>) +<connect> pid:<peer_id> <dir> <addr> <state>

    dur hh:mm:ss tx:<packets>/<bytes> rx:<packets>/<bytes> dscp:<packets violation>
media:<packets violation> audio tos:<audio tos value> video tos:<video tos value>
IP <ip>:<udp> rtt:<time>ms pl:<play>/<gap>ms lost:<lost>/<early>/<late>
    delay:<last>/<min>/<max>ms <codec> <textrelay> <transcoded>

media inactive detected:<y/n> media cntrl rcvd:<y/n> timestamp:<time>

long duration call detected:<y/n> long duration call duration :<sec> timestamp:<time>
LostPacketRate:<%> OutOfOrderRate:<%>
LocalUUID:<%> RemoteUUID:<%>
VRF:<%>
MODEMPASS <method> buf:<fills>/<drains> loss <overall%> <multipkt>/<corrected>
    last <buf event time>s dur:<Min>/<Max>s
FR <protocol> [int dlci cid] vad:<y/n> dtmf:<y/n> seq:<y/n>
    <codec> (payload size)
ATM <protocol> [int vpi/vci cid] vad:<y/n> dtmf:<y/n> seq:<y/n>
    <codec> (payload size)
Tele <int> (callID) [channel_id] tx:<tot>/<v>/<fax>ms <codec> noise:<l> acom:<l>
i/o:<l>/<l> dBm

```

```

MODEMRELAY info:<rcvd>/<sent>/<resent> xid:<rcvd>/<sent> total:<rcvd>/<sent>/<drops>
  speeds(bps): local <rx>/<tx> remote <rx>/<tx>
Proxy <ip>:<audio udp>,<video udp>,<tcp0>,<tcp1>,<tcp2>,<tcp3> endpt: <type>/<manf>
bw: <req>/<act> codec: <audio>/<video>
  tx: <audio pkts>/<audio bytes>,<video pkts>/<video bytes>,<t120 pkts>/<t120 bytes>
  rx: <audio pkts>/<audio bytes>,<video pkts>/<video bytes>,<t120 pkts>/<t120 bytes>

Telephony call-legs: 0
SIP call-legs: 2
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 2
1218 : 15 2442930ms.1 (*13:22:20.797 UTC Thu Feb 18 2016) +2010 pid:880 Answer sipp
active
  dur 00:00:02 tx:0/0 rx:0/0 dscp:0 media:0 audio tos:0xB8 video tos:0x0
  IP 1.4.186.60:6005 SRTP: off rtt:0ms pl:0/0ms lost:0/0/0 delay:0/0/0ms g711ulaw TextRelay:
  off
Transcoded: No ICE: Off
  media inactive detected:n media contrl rcvd:n/a timestamp:n/a
  long duration call detected:n long duration call duration:n/a timestamp:n/a
  LostPacketRate:0.00 OutOfOrderRate:0.00
LocalUUID:ab30317f1a784dc48ff824d0d3715d86
RemoteUUID:47755a9de7794ba387653f2099600ef2
  VRF: VRF1
1218 : 16 2442940ms.1 (*13:22:20.807 UTC Thu Feb 18 2016) +2000 pid:770 Originate 7777
active
  dur 00:00:02 tx:0/0 rx:0/0 dscp:0 media:0 audio tos:0xB8 video tos:0x0
  IP 9.45.33.11:16384 SRTP: off rtt:0ms pl:0/0ms lost:0/0/0 delay:0/0/0ms g711ulaw
  TextRelay: off
Transcoded: No ICE: Off
  media inactive detected:n media contrl rcvd:n/a timestamp:n/a
  long duration call detected:n long duration call duration:n/a timestamp:n/a
  LostPacketRate:0.00 OutOfOrderRate:0.00
LocalUUID:47755a9de7794ba387653f2099600ef2
RemoteUUID:ab30317f1a784dc48ff824d0d3715d86
  VRF: NA

Telephony call-legs: 0
SIP call-legs: 2
H323 call-legs: 0
Call agent controlled call-legs: 0
SCCP call-legs: 0
Multicast call-legs: 0
Total call-legs: 2

```

次に示すのは、キーワード **echo-canceller** を指定して **show call active voice** コマンドを使用した例です。ここに示されている番号9は、アクティブな音声コールの16進数IDを表します。

```

Router# show call active voice echo-canceller 9
ACOM=-65 ERL=45
Echo canceller control words=6C 0
Bypass=OFF Tail=64 Residual ecan=Comfort noise
Freeze=OFF Modem tone disable=Ignore 2100Hz tone
Worst ERL=6 High level compensation=OFF
Max amplitude reflector (in msec)=5
Ecan version = 8180

```

次に示すのは、16進数IDが10であるコールを指定して **show call active voice echo-canceller** コマンドを実行した場合の出力例です。

```
Router# show call active voice echo-canceller 10
```

```
ACOM=-15  ERL=7
Echo canceller control words=6C 0
Bypass=OFF  Tail=64  Residual ecan=Comfort noise
Freeze=OFF  Modem tone disable=Ignore 2100Hz tone
Worst ERL=6  High level compensation=OFF
Max amplitude reflector (in msec)=64
```

コールID番号（上の例では10）は、新しいアクティブコールごとに変化します。アクティブコールが開始したら、**show call active voice brief** コマンドを入力してコールID番号を取得する必要があります。**show call active voice echo-canceller x** コマンド（x = コールIDを16進値に変換した値）を使用する場合は、まずコールIDを16進値に変換する必要があります。

次の表に、コールIDの16進値への変換例を示します（通常は2ずつ増分します）。

表 14: コールIDの16進数への変換

10進数	16進数
2	2
4	4
6	6
8	8
10	A
12	C

もしくは、**show voice call status** コマンドを使用してコールIDを取得することもできます。このコマンドで出力されるコールIDは、すでに16進値形式になっています。

```
Router# show voice call status
```

```
CallID      CID  ccVdb      Port      DSP/Ch  Called #  Codec      Dial-peers
0x1         11CE 0x02407B20 1:0.1     1/1     1000     g711ulaw  2000/1000
```

次に、**show call active voice** コマンドで **compact** キーワードを指定した場合の出力例を示します。

```
Router# show call active voice compact
<callID>  A/O  FAX T<sec>  Codec      type      Peer      Address IP R<ip>:<udp>  VRF
Total call-legs: 2
8565722  ANS   T12        g711ulaw  VOIP     P777412373  10.0.0.1:30804  VRF1
8565723  ORG   T12        g711ulaw  VOIP     P777512373  11.0.0.1:30804  VRF2
```


次に、**show call active voice redirect** コマンドで **tbct** キーワードを指定した場合の出力例を示します。

```
Router# show call active voice redirect tbct
TBCT:
    Maximum no. of TBCT calls allowed:No limit
    Maximum TBCT call duration:No limit
Total number TBCT calls currently being monitored = 1
ctrl name=T1-2/0, tag=13, call-ids=(7, 8), start_time=*00:12:25.985 UTC Mon Mar 1 1993
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 15: **show call active voice redirect** のフィールドの説明

フィールド	説明
Maximum no. of TBCT calls allowed	tbct max calls コマンドで定義された、TBCT を使用できる最大コール数。
Maximum TBCT call duration	tbct max call-duration コマンドで定義された、TBCT コールで許可されている最長時間。
Total number TBCT calls currently being monitored	アクティブ TBCT コールの合計数。
ctrl name	コール発信元の T1 コントローラの名前。
tag	当該コールを識別するコールタグ番号。
call-ids	コールレグに固有の識別番号。
start_time	リダイレクトされたコールの開始時刻（時、分、秒）。

関連コマンド

コマンド	説明
show call active fax	進行中のファクス送信のコール情報を表示します。
show call history	コール履歴テーブルを表示します。
show call-router routes	BE のキャッシュ内のダイナミックルートを表示します。
show call-router status	Annex G BE のステータスを表示します。
show dial-peer voice	ダイヤルピアの設定情報を表示します。
show num-exp	VoIP の番号拡張の設定方法を表示します。
show voice call status	Cisco ルータまたは Cisco コンセントレータの音声ポートのコールステータスを表示します。
show voice port	特定の音声ポートの設定情報を表示します。

show call application app-level

音声アプリケーションの統計情報をアプリケーション別に表示するには、特権EXECモードで **show call application app-level** コマンドを使用します。

show call application {active | history} app-level [{app-tag application-name | summary}]

構文の説明		
	active	アクティブなアプリケーション インスタンスの統計を表示します。
	history	終了したアプリケーション インスタンスの統計を表示します。
	app-tag application-name	特定の音声アプリケーションの名前。出力には、ここで指定した音声アプリケーションの統計が表示されます。
	summary	各アプリケーションの要約情報を表示します。

コマンドモード 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.3(8)T	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

- このコマンドで統計を表示するには、**call application stats** コマンドで統計情報の収集を有効化する必要があります。
- このコマンドは、各アプリケーションごとに集計されたゲージおよびカウンタを表示します。表示される値は、統計情報の収集が有効に設定されている間にゲートウェイで実行されている特定の音声アプリケーションのすべてのインスタンスを表します。
- アプリケーション別にカウンタをゼロにリセットし、履歴内にあるゲートウェイ別の統計からカウンタを減算するには、**clear call application stats** コマンドを使用します。**clear call application stats** コマンドを使用した時点、またはゲートウェイがリロードした時点まで、履歴内の統計カウンタは累積し続けます。



(注) **no call application voice** コマンドでアプリケーションが削除されるか、**call application voice load** コマンドでそのアプリケーションのスクリプトがリロードされると、アプリケーションの統計は自動的にクリアされます。

例

次に、**show call application app-level** コマンドでさまざまなキーワードを指定した場合の出力例を示します。

```
Router# show call application active app-level summary
```

Application level active Info:

App Name	Sessions	
	w/ Stats	Total
session	0	0
fax_hop_on	0	0
clid_authen	0	0
clid_authen_collect	0	0
clid_authen_npw	0	0
clid_authen_col_npw	0	0
clid_col_npw_3	0	0
clid_col_npw_npw	0	0
Default	0	0
lib_off_app	0	0
fax_on_vfc_onramp_app	0	0
asr	0	0
offramp	0	0
generic	1	1
smtp_record	0	0
authen	0	0
authorize	0	0
ram_record_replay	0	0

Router# **show call application active app-level app-tag generic**

Application level active Info:

```

Application Name:          generic
url:                      tftp://10.10.10.113/tftplocal/generic.vxml
Total sessions:           1
Sessions w/ stats:        1
Currently connected incoming PSTN legs: 1
Currently connected outgoing PSTN legs: 0
Currently connected incoming VoIP legs: 0
Currently connected outgoing VoIP legs: 0
Placecalls in transit:   0
Handouts in transit:     0
Pending ASNL subscriptions: 0
Pending ASNL unsubscriptions: 0
Prompts playing (non-TTS): 0
Recordings:              0
TTS prompts playing:     0

```

上記の出力で表示されている各フィールドの説明については、1363 ページの表 38 を参照してください。

Router# **show call application history app-level summary**

Application level history Info:

App Name	Stats	Sessions		Errors	Last Reset Time
		w/ Stats	Total		
session	N	0	0	0	
fax_hop_on	N	0	0	0	
clid_authen	N	0	0	0	
clid_authen_collect	N	0	0	0	
clid_authen_npw	N	0	0	0	
clid_authen_col_npw	N	0	0	0	
clid_col_npw_3	N	0	0	0	
clid_col_npw_npw	N	0	0	0	
Default	N	0	0	0	
lib_off_app	N	0	0	0	
fax_on_vfc_onramp_app	N	0	0	0	
ram_record_replay	N	0	0	0	
authorize	N	0	0	0	
authen	N	0	0	0	
smtp_record	N	0	0	0	

show call application app-level

```

generic          Y      2      2      4      *Jul  3 15:49:28
offramp         N      0      0      0
asr             N      0      0      0

```

次の表に、この出力で表示されるフィールドについて説明します。

表 16: show call application history app-level のフィールドの説明

フィールド	説明
App Name	音声アプリケーションの名前。
Stats	このアプリケーションで統計が有効になっているかどうか。 (注) 統計が有効になっている場合は、指定したアプリケーションのアクティブなインスタンスが少なくとも1つ存在しない限り、このフィールドには N と表示されます。
Sessions w/ stats	ゲージが表す終了したアプリケーションインスタンスの数。
Total	当該アプリケーションの合計インスタンス数。
Errors	当該アプリケーションのすべてのインスタンスにおける合計エラー数。
Last Reset Time	前回 clear call application stats コマンドで統計がクリアされた時刻、またはゲートウェイが再起動した時刻。

```
Router# show call application history app-level app-tag generic
```

```

Application level history Info:
Application name:      generic
URL:                  tftp://10.10.10.113/tftplocal/generic.vxml
Total sessions:      2
Sessions w/ stats:   2
Last reset time:     *Jul  3 15:49:28 PST
Statistics:
  Subscriber Service - Call
                                PSTN                VOIP
                                Incoming Outgoing Incoming Outgoing
Legs setup:                   2          0          0          0
Total legs connected:         2          0          0          0
Legs handed in:                0          0          0          0
Legs handed in returned back:  0          0          0          0
Legs handed out:               0          0          0          0
Legs handed out came back:    0          0          0          0
Legs disconnected normally:    2          0          0          0
Legs disconnected for user error: 0          0          0          0
Legs disconnected for system error: 0          0          0          0
  Subscriber Service - Media
                                Play          Record      TTS
Media attempts:                3          0          0
Media successes:                0          0          0
Media aborts:                   0          0          0
Media failures:                 3          0          0
Total media duration (in seconds): 3          0          0
  Application Internal Service - Handoff
                                Incoming      Outgoing

```

```

Bridged handoffs:                0          0
Bridged handoffs returned:        0          0
Blind handoffs:                   0          0
Handoffs failed:                  x          0
  Application Internal Service - Placecall/transfer
Placecall requests:               0
Placecall successes:              0
Placecall failures:               0
  Application Internal Service - Document Read-Write
                                     Read      Write
Doc requests:                     0          0
Doc successes:                    0          0
Doc failures:                     0          0
  Application Internal Service - Downloaded Script
Script parse errors:              0
  Application Internal Service - ASNL
ASNL notifications:               0
                                     Subscription  Unsubscription
ASNL requests:                   0          0
ASNL successes:                  0          0
ASNL failures:                   0          0
  Subscriber Interaction - DTMF
DTMFs not matched:               0
DTMFs matched:                   0
DTMFs no input:                  1
DTMFs long pound:                0
  Subscriber Interaction - ASR
ASRs not matched:                0
ASRs matched:                    0
ASRs no input:                   0
  Subscriber Interaction - AAA
                                     Authentication  Authorization
AAA successes:                   0          1
AAA failures:                    0          0

```

この出力で表示されている各フィールドの説明については、1379 ページの表 41 を参照してください。

関連コマンド

コマンド	説明
call application event-log	音声アプリケーション インスタンスのイベントロギングを有効にします。
call application stats	音声アプリケーションの統計情報の収集を有効にします。
call application voice event-log	特定の音声アプリケーションのイベントロギングを有効化します。
clear call application stats	履歴内にあるアプリケーション別の統計をクリアし、この統計をゲートウェイ別統計から減算します。
show call application gateway-level	音声アプリケーション インスタンスのゲートウェイ別の統計を表示します。
show call application session-level	音声アプリケーション インスタンスのイベントログと統計を表示します。

show call application gateway-level

音声アプリケーションインスタンスの統計情報をゲートウェイ別に表示するには、特権EXECモードで **show call application gateway-level** コマンドを使用します。

show call application {active|history} gateway-level

構文の説明	active	アクティブなアプリケーションインスタンスの統計を表示します。
	history	終了したアプリケーションインスタンスの統計を表示します。

コマンドモード 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.3(8)T	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

- このコマンドで統計を表示するには、**call application stats** コマンドで統計情報の収集を有効化する必要があります。
- このコマンドは、各ゲートウェイごとに集計されたゲージおよびカウンタを表示します。表示される値は、統計情報の収集が有効に設定されている間にゲートウェイで実行されているすべての音声アプリケーションのすべてのインスタンスを表します。
- アプリケーション別にカウンタをゼロにリセットし、履歴内にあるゲートウェイ別の統計からカウンタを減算するには、**clear call application stats** コマンドを使用します。**clear call application stats** コマンドを使用した時点、またはゲートウェイがリロードした時点まで、履歴内の統計カウンタは累積し続けます。



- (注) **no call application voice** コマンドでアプリケーションが削除されるか、**call application voice load** コマンドでそのアプリケーションのスクリプトがリロードされると、アプリケーションの統計は自動的にクリアされます。

例

次に、**show call application gateway-level** コマンドでさまざまなキーワードを指定した場合の出力例を示します。

```
Router# show call application active gateway-level
Gateway level statistics for active application sessions:
Sessions w/ stats:                1
Currently connected incoming PSTN legs:  1
Currently connected outgoing PSTN legs:  0
Currently connected incoming VoIP legs:  0
Currently connected outgoing VoIP legs:  0
Placecalls in transit:             0
```

```

Handouts in transit:          0
Pending ASNL subscriptions:  0
Pending ASNL unsubscriptions: 0
Prompts playing (non-TTS):   0
Recordings:                  0
TTS prompts playing:         0

```

次の表に、この出力で表示されるフィールドについて説明します。

表 17: show call application active gateway-level のフィールドの説明

フィールド	説明
Sessions w/ stats	ゲージが表すアクティブなアプリケーションインスタンスの数。
Currently connected incoming PSTN legs	PSTN から着信するアクティブコールレッグの数。
Currently connected outgoing PSTN legs	PSTN に発信されるアクティブコールレッグの数。
Currently connected incoming VoIP legs	IP ネットワークから着信するアクティブコールレッグの数。
Currently connected outgoing VoIP legs	IP ネットワークに発信されるアクティブコールレッグの数。
Placecalls in transit	すべてのアクティブアプリケーションインスタンスで進行中の発信コール数。コールがセットアップされるか、あるいはセットアップに失敗すると、この値が 1 ずつ減少します。
Handouts in transit	すべてのアクティブアプリケーションインスタンスで進行中のハンドオフの数。受信側アプリケーションがアプリケーションを返すか、あるいはハンドオフを拒否すると、この値が 1 ずつ減少します。
Pending ASNL subscriptions	すべてのアクティブなアプリケーションインスタンスで進行中のアプリケーション Subscribe Notify 層 (ASNL) のサブスクリプション要求数。
Pending ASNL unsubscriptions	すべてのアクティブなアプリケーションインスタンスで進行中の ASNL サブスクリプション解除要求の数。
Prompts playing (non-TTS)	すべてのアクティブアプリケーションインスタンスで再生中の録音済みプロンプト数。
Recordings	すべてのアクティブアプリケーションインスタンスで実行中の録音数。
TTS prompts playing	すべてのアクティブアプリケーションインスタンスで再生されているテキスト読み上げ (TTS) プロンプトの数。

show call application gateway-level

```
Router# show call application history gateway-level
```

```
Gateway level statistics for history application sessions:
```

```
Sessions w/ stats:          2
Last reset time:           *Jul  3 15:49:28 PST
Statistics:
```

```
Subscriber Service - Call
                                PSTN                VOIP
                                Incoming Outgoing  Incoming Outgoing
Legs setup:                      2          0          0          0
Total legs connected:            2          0          0          0
Legs handed in:                  0          0          0          0
Legs handed in returned back:    0          0          0          0
Legs handed out:                 0          0          0          0
Legs handed out came back:       0          0          0          0
Legs disconnected normally:       2          0          0          0
Legs disconnected for user error:  0          0          0          0
Legs disconnected for system error: 0          0          0          0
Subscriber Service - Media
                                Play           Record      TTS
Media attempts:                  3             0           0
Media successes:                 0             0           0
Media aborts:                    0             0           0
Media failures:                  3             0           0
Total media duration (in seconds): 3             0           0
Subscriber Interaction - DTMF
DTMFs not matched:              0
DTMFs matched:                  0
DTMFs no input:                 1
DTMFs long pound:              0
```

history キーワードで表示される各フィールドの説明については、上の表を参照してください。

関連コマンド

コマンド	説明
call application stats	音声アプリケーションの統計情報の収集を有効にします。
clear call application stats	履歴内にあるアプリケーション別の統計をクリアし、この統計をゲートウェイ別統計から減算します。
show call application app-level	音声アプリケーションのアプリケーション別統計を表示します。
show call application session-level	音声アプリケーション インスタンスのイベントログと統計を表示します。

show call application interface

アプリケーションインターフェイスのイベントログおよび統計を表示するには、特権 EXEC モードで **show call application interface** コマンドを使用します。

```
show call application interface [{summary | {aaa | asr | flash | http | ram | rtsp | smtp | tftp | tts}
[server server] [{event-log | info | summary}]]
```

構文の説明

summary	(任意) すべてのインターフェイスタイプまたは選択したインターフェイスの簡潔な要約を表示します。
aaa	認証、許可、およびアカウントिंग (AAA) インターフェイスタイプ。
asr	自動音声認識 (ASR) インターフェイスタイプ。
flash	Cisco ゲートウェイのフラッシュメモリ。
http	Hypertext Transfer Protocol (HTTP) インターフェイスタイプ。
ram	Cisco ゲートウェイのメモリ。
rtsp	Real-time Streaming Protocol (RTSP) インターフェイスタイプ。
smtp	シンプルメール転送プロトコル (SMTP) インターフェイスタイプ。
tftp	トリビアルファイル転送プロトコル (TFTP) インターフェイスタイプ。
tts	音声合成 (TTS) インターフェイスタイプ。
server server	(任意) 指定したサーバーのイベントログまたは統計を表示します。
event-log	(任意) 選択したインターフェイスタイプまたはサーバーのイベントログを表示します。
info	(任意) 選択したインターフェイスタイプまたはサーバーの統計を表示します。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.3(8)T	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

キーワード **server** を使用すると、選択したサーバーの統計またはイベントログのみが表示されます。このコマンドでイベントログまたは統計を表示するには、統計とイベントロギングを、それぞれ **call application interface event-log** コマンドおよび **call application interface stats** コマ

ンドで有効化する必要があります。統計カウンタをゼロにリセットし、履歴内のイベントログをクリアするには、**clear call application interface** コマンドを使用します。

例

次に、**show call application interface** コマンドでさまざまなキーワードを指定した場合の出力例を示します。

```
Router# show call application interface summary
Aggregated statistics for http service:
Stats last reset time *Jul  3 15:24:48 PST
Read requests:                3
Read successes:                0
Read failures:                3
Read aborts:                   0
Total bytes read:              0
Write requests:                0
Write successes:               0
Write failures:                0
Write aborts:                   0
Total bytes written:           0
Aggregated statistics for tts service:
Stats last reset time *Jul  3 15:24:48 PST
Read requests:                 0
Read successes:                0
Read failures:                 0
Read aborts:                    0
Aggregated statistics for asr service:
Stats last reset time *Jul  3 15:24:48 PST
Read requests:                 0
Read successes:                0
Read failures:                 0
Read aborts:                    0
Aggregated statistics for tftp service:
Stats last reset time *Jul  3 15:24:48 PST
Read requests:                 3
Read successes:                2
Read failures:                 0
Read aborts:                    1
Total bytes read:              145888
Router# show call application interface tftp summary

Aggregated statistics for tftp service:
Stats last reset time *Jul  3 15:24:48 PST
Read requests:                 3
Read successes:                2
Read failures:                 0
Read aborts:                    1
Total bytes read:              145888
Server Name                    Stats Error Count                    Event Log
172.19.139.145                 Y      0
speech-serv                     Y      0
Router# show call application interface tftp

Server name:                    172.19.139.145
Statistics:
Last reset time *Jul  3 16:08:13 PST
Read requests:                  1
Read successes:                 2
Read failures:                  0
Read aborts:                     1
Total bytes read:              145888
Event log:
```

```

Last reset time *Jul  3 16:08:13 PST
buf_size=50K, log_lvl=INFO
<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>
172.19.139.145:1057277293:53:INFO: ID = 6549D9E0: Read requested for URL =
tftp://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
172.19.139.145:1057277295:54:INFO: ID = 6549D9E0: Streamed read transaction Successful
URL = tftp://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
172.19.139.145:1057277306:59:INFO: ID = 649A0320: Streamed read transaction Successful
URL = tftp://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
172.19.139.145:1057277317:65:INFO: ID = 650922A8: Read request aborted for URL =
tftp://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
-----
Router# show call application interface tftp event-log

Server name:          172.19.139.145
Event log:
Last reset time *Jul  3 16:08:13 PST
buf_size=50K, log_lvl=INFO
<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>
172.19.139.145:1057277293:53:INFO: ID = 6549D9E0: Read requested for URL =
tftp://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
172.19.139.145:1057277295:54:INFO: ID = 6549D9E0: Streamed read transaction Successful
URL = tftp://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
172.19.139.145:1057277306:59:INFO: ID = 649A0320: Streamed read transaction Successful
URL = tftp://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
172.19.139.145:1057277317:65:INFO: ID = 650922A8: Read request aborted for URL =
tftp://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
-----
Router# show call application interface tftp info

Server name:          172.19.139.145
Statistics:
Last reset time *Jul  3 16:08:13 PST
Read requests:        3
Read successes:       2
Read failures:        0
Read aborts:          1
Total bytes read:          145888
-----

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 18: show call application interface のフィールドの説明

フィールド	説明
Last reset time	前回 clear call application interface コマンドで統計がクリアされた時刻、またはゲートウェイが再起動した時刻。
Read requests	アプリケーションからこのインターフェイスタイプに送信された読み取り要求の合計数。
Read successes	アプリケーションからこのインターフェイスタイプに送信され、成功した読み取り要求の数。
Read failures	アプリケーションからこのインターフェイスタイプに送信され、失敗した読み取り要求の数。

show call application interface

フィールド	説明
Read aborts	アプリケーションからこのインターフェイスタイプに送信され、中止された読み取り要求の数。
Total bytes read	アプリケーションがこのインターフェイスタイプから読み取った合計バイト数。
Server name	特定のサーバーの名前。
Stats	このサーバーで統計が有効になっているかどうか。
Error Count	このサーバーの合計エラー数。
Event Log	このサーバーでイベントロギングが有効になっているかどうか。

関連コマンド

コマンド	説明
call application interface event-log	音声アプリケーションで使用する外部インターフェイスのイベントロギングを有効にします。
call application interface stats	アプリケーション インターフェイスの統計情報収集を有効にします。
clear call application interface	アプリケーション インターフェイスの統計情報およびイベントログをクリアします。

show call application services registry

サービスとして登録されているすべての TCL IVR 2.0 アプリケーションセッションの要約情報を 1 行で表示するには、ユーザー EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show call application services registry** コマンドを使用します。

show call application services registry

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

ユーザー EXEC (>) 特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.3(4)T	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

- サービスレジストリとは、サービスとして登録されるすべての TCL IVR 2.0 アプリケーションインスタンスを追跡するデータベースを指します。これによって、他の TCL アプリケーションが登録済みのアプリケーションを見つけて通信できるようになります。
- TCL セッションのサービス登録は、Cisco IOS コマンドを使って行いません。実行中の TCL IVR 2.0 アプリケーションインスタンスは、TCL サービス登録コマンドによって自動的にサービスとして登録されます。サービス登録コマンドについては、『[TCL IVR API Version 2.0 Programmer's Guide](#)』を参照してください。

例

次に、このコマンドの出力例を示します。

```
Router# show call application services registry
There are 1 Registered Services
  Service Name      Session ID  Session Name
  data_service      4          s1
```

下の表は、このコマンド出力で表示される重要なフィールドについて説明したものです。

表 19: show call application services registry のフィールドの説明

フィールド	説明
Service Name	TCL サービス登録コマンドで指定された名前。
Session ID	このサービスとして登録したセッションの ID。show call application sessions id コマンドでこの ID を使用すると、このセッションに関する詳細を表示できます。

フィールド	説明
Session Name	着信コールではなくゲートウェイ上でセッションが開始された場合は、 call application session start コマンドによって設定された名前。

関連コマンド

コマンド	説明
call application session start (global configuration)	グローバル コンフィギュレーション モードで、TCL アプリケーションの新しいインスタンス (セッション) を開始します。
call application session start (privileged EXEC)	特権 EXEC モードで、TCL アプリケーションの新しいインスタンス (セッション) を開始します。
call application session stop	実行中の音声アプリケーションセッションを停止します。
show call application sessions	音声アプリケーションセッションに関する要約情報または詳細情報を表示します。

show call application session-level

個々の音声アプリケーションインスタンスのイベントログと統計を表示するには、特権 EXEC モードで **show call application session-level** コマンドを使用します。

```
show call application {active|history} session-level [{summary} | [{app-tag application-name | last [number] | session-id session-id}] [{event-log | info}]]
```

構文の説明		
active		アクティブなアプリケーションインスタンスのイベントログおよび統計を表示します。
history		履歴テーブル上の非アクティブなアプリケーションインスタンスのイベントログおよび統計を表示します。
summary		各アプリケーションインスタンスの要約情報を表示します。
app-tag <i>application-name</i>		特定の音声アプリケーションの名前。出力には、ここで指定した音声アプリケーションのイベントログまたは統計が表示されます。
last		(任意) 直近のインスタンスのイベントログまたは統計を表示します。
<i>number</i>		(任意) ここで指定した数の直近のインスタンスに関するイベントログまたは統計を表示します。
session-id <i>session-id</i>		特定のアプリケーションインスタンスを指定します。出力には、ここで指定したインスタンスのイベントログまたは統計が表示されます。
event-log		(任意) アプリケーションインスタンスのイベントログを表示します。
info		(任意) アプリケーションインスタンスの統計を表示します。

コマンドモード 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.3(8)T	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

- このコマンドでイベントログまたは統計を表示するには、イベントロギングと統計を、それぞれ **call application event-log** コマンドおよび **call application stats** コマンドで有効化する必要があります。

- このコマンドは、各アプリケーションスタンスごとに集計されたゲージおよびカウンタを表示します。表示される値は、統計情報の収集が有効に設定されている間にゲートウェイで実行されている個々のインスタンスを表します。
- キーワード **history** の使用時に出力に含まれるレコード数は、**call application history session max-records** コマンドおよび **call application history session retain-timer** コマンドの設定によって異なります。

例

次に、**show call application session-level** コマンドでさまざまなキーワードおよび引数を指定した場合の出力例を示します。

```
Router# show call application active session-level summary

SID  Application Name      Stat Err Cnt   Log Start Time
5    generic              Y    6            Y   *Jul  3 15:19:4
6    generic              Y    3            Y   *Jul  3 15:19:5

Router# show call application active session-level last
Session Info:
Session id:          6
Session name:
Application name:    generic
Application URL:     tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
Start time:          *Jul  3 15:19:53 PST
Statistics:
  Subscriber Service - Call

                                     PSTN                VOIP
                                     Incoming Outgoing Incoming Outgoing
Legs setup:                        1         0         0         0
Total legs connected:               1         0         0         0
Legs currently connected:           1         0         0         0
Legs handed in:                     0         0         0         0
Legs handed in returned back:       0         0         0         0
Legs handed out:                    0         0         0         0
Legs handed out came back:          0         0         0         0
Legs disconnected normally:          0         0         0         0
Legs disconnected for user error:    0         0         0         0
Legs disconnected for system error:  0         0         0         0
  Subscriber Service - Media

                                     Play      Record   TTS
Media attempts:                     4         0         0
Media actives:                       0         0         0
Media successes:                     0         0         0
Media aborts:                        0         0         0
Media failures:                      4         0         0
Total media duration (in seconds):  0         0         0
  Subscriber Interaction - DTMF
DTMFs not matched:                  0
DTMFs matched:                      0
DTMFs no input:                     3
DTMFs long pound:                   0
Event log:
buf_size=25K, log_lvl=INFO
<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>
6:1057274393:472:INFO: Session started for App-type = generic, URL =
tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
6:1057274393:473:INFO: Incoming Telephony call received, LegID = 10
6:1057274393:474:INFO: LegID = 10: Calling = 4084644753, called = 52927, dial peer = 1
6:1057274393:475:INFO: LegID = 10: Leg State = LEG_INCCONNECTED
6:1057274393:478:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
```


6:1057274408:517:INFO: Script received event = "error.badfetch"
 Router# show call application active session-level info

Session Info:

Session id: 5
 Session name:
 Application name: generic
 Application URL: tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
 Start time: *Jul 3 15:19:44 PST

Statistics:

Subscriber Service - Call

	PSTN		VOIP	
	Incoming	Outgoing	Incoming	Outgoing
Legs setup:	1	0	0	0
Total legs connected:	1	0	0	0
Legs currently connected:	1	0	0	0
Legs handed in:	0	0	0	0
Legs handed in returned back:	0	0	0	0
Legs handed out:	0	0	0	0
Legs handed out came back:	0	0	0	0
Legs disconnected normally:	0	0	0	0
Legs disconnected for user error:	0	0	0	0
Legs disconnected for system error:	0	0	0	0

Subscriber Service - Media

	Play	Record	TTS
Media attempts:	9	0	0
Media actives:	0	0	0
Media successes:	0	0	0
Media aborts:	0	0	0
Media failures:	9	0	0
Total media duration (in seconds):	0	0	0

Subscriber Interaction - DTMF

DTMFs not matched:	0
DTMFs matched:	0
DTMFs no input:	8
DTMFs long pound:	0

Session Info:

Session id: 6
 Session name:
 Application name: generic
 Application URL: tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
 Start time: *Jul 3 15:19:53 PST

Statistics:

Subscriber Service - Call

	PSTN		VOIP	
	Incoming	Outgoing	Incoming	Outgoing
Legs setup:	3	0	0	0
Total legs connected:	3	0	0	0
Legs currently connected:	1	0	0	0
Legs handed in:	0	0	0	0
Legs handed in returned back:	0	0	0	0
Legs handed out:	0	0	0	0
Legs handed out came back:	0	0	0	0
Legs disconnected normally:	0	0	0	0
Legs disconnected for user error:	0	0	0	0
Legs disconnected for system error:	0	0	0	0

Subscriber Service - Media

	Play	Record	TTS
Media attempts:	7	0	0
Media actives:	0	0	0
Media successes:	0	0	0
Media aborts:	0	0	0
Media failures:	7	0	0
Media duration (in seconds):	0	0	0

show call application session-level

```

Application Internal Service - Handoff
                                     Incoming   Outgoing
Bridged handoffs:                    0           0
Bridged handoffs returned:           0           0
Blind handoffs:                      0           0
Handoffs in transit:                 x           0
Handoffs failed:                     x           0
  Application Internal Service - Placecall/transfer
Placecall requests:                  0
Placecall successes:                 0
Placecall failures:                 0
Placecalls in transit:               0
  Application Internal Service - Document Read-Write
                                     Read        Write
Doc requests:                        0           0
Doc successes:                       0           0
Doc failures:                        0           0
  Application Internal Service - Downloaded Script
Script parse errors:                 0
  Application Internal Service - ASNL
ASNL notifications:                 0
                                     Subscription  Unsubscription
ASNL requests:                      0           0
ASNL successes:                     0           0
ASNL pendings:                      0           0
ASNL failures:                      0           0
  Subscriber Interaction - DTMF
DTMFs not matched:                  0
DTMFs matched:                     0
DTMFs no input:                    6
DTMFs long pound:                   0
  Subscriber Interaction - ASR
ASRs not matched:                   0
ASRs matched:                       0
ASRs no input:                      0
  Subscriber Interaction - AAA
                                     Authentication Authorization
AAA successes:                      0           0
AAA failures:                       0           0
Router# show call application active session-level event-log

Event log:
buf_size=25K, log_lvl=INFO
<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>
5:1057274384:454:INFO: Session started for App-type = generic, URL =
tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
5:1057274384:455:INFO: Incoming Telephony call received, LegID = D
5:1057274384:456:INFO: LegID = D: Calling = 4085550198, called = 52927, dial peer = 1
5:1057274384:457:INFO: LegID = D: Leg State = LEG_INCCONNECTED
5:1057274384:460:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
5:1057274384:462:ERR : Prompt play setup failure.
5:1057274384:463:INFO: Script received event = "error.badfetch"
5:1057274389:464:INFO: Timed out waiting for user DTMF digits, no user input.
5:1057274389:465:INFO: Script received event = "noinput"
Event log:
buf_size=25K, log_lvl=INFO
<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>
6:1057274393:472:INFO: Session started for App-type = generic, URL =
tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
6:1057274393:473:INFO: Incoming Telephony call received, LegID = 10
6:1057274393:474:INFO: LegID = 10: Calling = 4084644753, called = 52927, dial peer = 1
6:1057274393:475:INFO: LegID = 10: Leg State = LEG_INCCONNECTED
6:1057274393:478:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
6:1057274393:480:ERR : Prompt play setup failure.

```

```
6:1057274393:481:INFO: Script received event = "error.badfetch"
6:1057274398:488:INFO: Timed out waiting for user DTMF digits, no user input.
6:1057274398:489:INFO: Script received event = "noinput"
6:1057274398:490:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
Router# show call application active session-level app-tag generic
```

```
Session Info:
Session id:          5
Session name:
Application name:    generic
Application URL:      tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
Start time:          *Jul  3 15:19:44 PST
Statistics:
```

Subscriber Service - Call

	PSTN		VOIP	
	Incoming	Outgoing	Incoming	Outgoing
Legs setup:	1	0	0	0
Total legs connected:	1	0	0	0
Legs currently connected:	1	0	0	0
Legs handed in:	0	0	0	0
Legs handed in returned back:	0	0	0	0
Legs handed out:	0	0	0	0
Legs handed out came back:	0	0	0	0
Legs disconnected normally:	0	0	0	0
Legs disconnected for user error:	0	0	0	0
Legs disconnected for system error:	0	0	0	0

Subscriber Service - Media

	Play	Record	TTS
Media attempts:	16	0	0
Media actives:	0	0	0
Media successes:	0	0	0
Media aborts:	0	0	0
Media failures:	17	0	0
Total media duration (in seconds):	0	0	0

Subscriber Interaction - DTMF

DTMFs not matched:	0
DTMFs matched:	0
DTMFs no input:	16
DTMFs long pound:	0

Event log:

buf_size=25K, log_lvl=INFO

<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>

```
5:1057274384:454:INFO: Session started for App-type = generic, URL =
tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
5:1057274384:455:INFO: Incoming Telephony call received, LegID = D
5:1057274384:456:INFO: LegID = D: Calling = 4085550198, called = 52927, dial peer = 1
5:1057274384:457:INFO: LegID = D: Leg State = LEG_INCCONNECTED
5:1057274384:460:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
5:1057274384:462:ERR : Prompt play setup failure.
5:1057274384:463:INFO: Script received event = "error.badfetch"
5:1057274389:464:INFO: Timed out waiting for user DTMF digits, no user input.
5:1057274389:465:INFO: Script received event = "noinput"
5:1057274389:466:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
```

Router# show call application active session-level session-id 7

```
Session Info:
Session id:          7
Session name:
Application name:    generic
Application URL:      tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
Start time:          *Jul  3 15:21:26 PST
Statistics:
```

Subscriber Service - Call

	PSTN		VOIP	
	Incoming	Outgoing	Incoming	Outgoing
Legs setup:	1	0	0	0
Total legs connected:	1	0	0	0
Legs currently connected:	1	0	0	0
Legs handed in:	0	0	0	0
Legs handed in returned back:	0	0	0	0
Legs handed out:	0	0	0	0
Legs handed out came back:	0	0	0	0
Legs disconnected normally:	0	0	0	0
Legs disconnected for user error:	0	0	0	0
Legs disconnected for system error:	0	0	0	0

show call application session-level

```

Legs setup: 1 0 0 0
Total legs connected: 1 0 0 0
Legs currently connected: 1 0 0 0
Legs handed in: 0 0 0 0
Legs handed in returned back: 0 0 0 0
Legs handed out: 0 0 0 0
Legs handed out came back: 0 0 0 0
Legs disconnected normally: 0 0 0 0
Legs disconnected for user error: 0 0 0 0
Legs disconnected for system error: 0 0 0 0
Subscriber Service - Media
      Play      Record      TTS
Media attempts: 3 0 0
Media actives: 0 0 0
Media successes: 0 0 0
Media aborts: 0 0 0
Media failures: 3 0 0
Total media duration (in seconds): 0 0 0
Subscriber Interaction - DTMF
DTMFs not matched: 0
DTMFs matched: 0
DTMFs no input: 2
DTMFs long pound: 0
Event log:
buf_size=25K, log_lvl=INFO
<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>
7:1057274486:662:INFO: Session started for App-type = generic, URL =
tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
7:1057274486:663:INFO: Incoming Telephony call received, LegID = 13
7:1057274486:664:INFO: LegID = 13: Calling = 4085550198, called = 52927, dial peer = 1
7:1057274486:665:INFO: LegID = 13: Leg State = LEG_INCCONNECTED
7:1057274486:668:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
Router# show call application history session-level summary

```

SID	Application Name	Stat	Err	Cnt	Log	Stop Time	Duration
1	generic	Y		3	Y	*Jul 3 15:49:2	00:00:11
2	generic	Y		1	Y	*Jul 3 15:49:3	00:00:03

Router# show call application history session-level last

```

Session Info:
Session id: 2
Session name:
Application name: generic
Application URL: tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
Start time: *Jul 3 15:49:29 PST
Stop time: *Jul 3 15:49:33 PST
Statistics:
Subscriber Service - Call

```

	PSTN		VOIP	
	Incoming	Outgoing	Incoming	Outgoing
Legs setup:	1	0	0	0
Total legs connected:	1	0	0	0
Legs handed in:	0	0	0	0
Legs handed in returned back:	0	0	0	0
Legs handed out:	0	0	0	0
Legs handed out came back:	0	0	0	0
Legs disconnected normally:	1	0	0	0
Legs disconnected for user error:	0	0	0	0
Legs disconnected for system error:	0	0	0	0
Subscriber Service - Media				
	Play	Record	TTS	
Media attempts:	1	0	0	
Media successes:	0	0	0	
Media aborts:	0	0	0	

```

Media failures:                1          0          0
Total media duration (in seconds):  0          0          0
Event log:
buf_size=25K, log_lvl=INFO
<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>
2:1057276169:28:INFO: Session started for App-type = generic, URL =
tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
2:1057276169:29:INFO: Incoming Telephony call received, LegID = 4
2:1057276169:30:INFO: LegID = 4: Calling = 4085550198, called = 52927, dial peer = 1
2:1057276169:31:INFO: LegID = 4: Leg State = LEG_INCCONNECTED
2:1057276169:34:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
2:1057276169:36:ERR : Prompt play setup failure.
2:1057276169:37:INFO: Script received event = "error.badfetch"
2:1057276173:39:INFO: Script received event = "telephone.disconnect.hangup"
2:1057276173:40:INFO: LegID = 4: Call disconnected, cause = normal call clearing (16)
2:1057276173:43:INFO: Session done, terminating cause =
Router# show call application history session-level event-log

```

```

Event log:
buf_size=25K, log_lvl=INFO
<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>
1:1057276157:3:INFO: Session started for App-type = generic, URL =
tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
1:1057276157:4:INFO: Incoming Telephony call received, LegID = 1
1:1057276157:5:INFO: LegID = 1: Calling = 4085550198, called = 52927, dial peer = 1
1:1057276157:6:INFO: LegID = 1: Leg State = LEG_INCCONNECTED
1:1057276157:9:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
1:1057276160:12:ERR : Prompt play setup failure.
1:1057276160:13:INFO: Script received event = "error.badfetch"
1:1057276165:14:INFO: Timed out waiting for user DTMF digits, no user input.
1:1057276165:15:INFO: Script received event = "noinput"
1:1057276165:16:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
1:1057276165:18:ERR : Prompt play setup failure.
1:1057276165:19:INFO: Script received event = "error.badfetch"
1:1057276168:21:INFO: Script received event = "telephone.disconnect.hangup"
1:1057276168:22:INFO: LegID = 1: Call disconnected, cause = normal call clearing (16)
1:1057276168:25:INFO: Session done, terminating cause =

```

```

Event log:
buf_size=25K, log_lvl=INFO
<ctx_id>:<timestamp>:<seq_no>:<severity>:<msg_body>
2:1057276169:28:INFO: Session started for App-type = generic, URL =
tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
2:1057276169:29:INFO: Incoming Telephony call received, LegID = 4
2:1057276169:30:INFO: LegID = 4: Calling = 4085550198, called = 52927, dial peer = 1
2:1057276169:31:INFO: LegID = 4: Leg State = LEG_INCCONNECTED
2:1057276169:34:INFO: Playing prompt #1: http://172.19.139.145/audio/ch_welcome.au
2:1057276169:36:ERR : Prompt play setup failure.
2:1057276169:37:INFO: Script received event = "error.badfetch"
2:1057276173:39:INFO: Script received event = "telephone.disconnect.hangup"
2:1057276173:40:INFO: LegID = 4: Call disconnected, cause = normal call clearing (16)
2:1057276173:43:INFO: Session done, terminating cause =
Router# show call application history session-level info

```

```

Session Info:
Session id:          1
Session name:
Application name:    generic
Application URL:     tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
Start time:          *Jul  3 15:49:17 PST
Stop time:           *Jul  3 15:49:28 PST
Statistics:
Subscriber Service - Call

```

```

                PSTN                VOIP
Incoming Outgoing Incoming Outgoing

```

show call application session-level

```

Legs setup: 1 0 0 0
Total legs connected: 1 0 0 0
Legs handed in: 0 0 0 0
Legs handed in returned back: 0 0 0 0
Legs handed out: 0 0 0 0
Legs handed out came back: 0 0 0 0
Legs disconnected normally: 1 0 0 0
Legs disconnected for user error: 0 0 0 0
Legs disconnected for system error: 0 0 0 0
Subscriber Service - Media
Play Record TTS
Media attempts: 2 0 0
Media successes: 0 0 0
Media aborts: 0 0 0
Media failures: 2 0 0
Total media duration (in seconds): 3 0 0
Subscriber Interaction - DTMF
DTMFs not matched: 0
DTMFs matched: 0
DTMFs no input: 1
DTMFs long pound: 0
Session Info:
Session id: 2
Session name:
Application name: generic
Application URL: tftp://demo/scripts/primary/generic.vxml
Start time: *Jul 3 15:49:29 PST
Stop time: *Jul 3 15:49:33 PST
Statistics:
Subscriber Service - Call
PSTN VOIP
Incoming Outgoing Incoming Outgoing
Legs setup: 1 0 0 0
Total legs connected: 1 0 0 0
Legs handed in: 0 0 0 0
Legs handed in returned back: 0 0 0 0
Legs handed out: 0 0 0 0
Legs handed out came back: 0 0 0 0
Legs disconnected normally: 1 0 0 0
Legs disconnected for user error: 0 0 0 0
Legs disconnected for system error: 0 0 0 0
Subscriber Service - Media
Play Record TTS
Media attempts: 1 0 0
Media successes: 0 0 0
Media aborts: 0 0 0
Media failures: 1 0 0
Total media duration (in seconds): 0 0 0

```

下の表は、各コマンド出力で表示される重要なフィールドについて説明したものです。



- (注) これらのフィールドは、**show call application session-level** コマンド、**show call application app-level** コマンド、および **show call application gateway-level** コマンドで表示されます。セッションレベルでは、各フィールドは単一のアプリケーションインスタンスに該当します。アプリケーションレベルでは、各フィールドは単一アプリケーションのすべてのインスタンスに該当します。ゲートウェイレベルでは、各フィールドはすべてのアプリケーションのすべてのインスタンスに該当します。

表 20 : show call application active session-level info フィールドの説明

フィールド	説明
Session id	インスタンスがアクティブになったときに割り当てられたセッション ID。
Session name	call application session start コマンドで定義されたセッション名。
Application name	call application voice コマンドで定義されたアプリケーション名。
Application URL	call application voice コマンドで定義されたアプリケーションスクリプトの場所。
Start time	セッションが開始した時刻。
Subscriber Service -- Call	
Legs setup	単一のアプリケーション インスタンスによるコールセットアップ（表示および要求）の数。
Total legs connected	単一のアプリケーション インスタンスによって接続されたコールの数。
Legs currently connected	任意の時点において単一のアプリケーション インスタンスによって現在接続されているコールの数。
Legs handed in	別のアプリケーションから着信ハンドオフとして受信したコールレグの数。
Legs handed in returned back	別のアプリケーションからの着信ハンドオフとして受信し、別のアプリケーションへと戻されたコールレグの数。
Legs handed out	別のアプリケーションにハンドオフされたコールレグの数。
Legs handed out came back	別のアプリケーションにハンドオフされ、別のアプリケーションから返されたコールレグの数。
Legs disconnected normally	正常な原因により切断された着信コールおよび発信コールの数。
Legs disconnected for user error	コール障害の理由（応答なしや通話中など）により切断された着信コールの数。
Legs disconnected for system error	リソースがないなど、システム障害の理由により切断された着信コールの数。
Subscriber Service -- Media	

フィールド	説明
Media attempts	このアプリケーションインスタンス上の各コールレグにおけるプロンプト再生、録音およびテキスト読み上げ (TTS) 試行の数。
Media actives,	単一アプリケーションインスタンス上の各コールレグにおいて現在アクティブなプロンプト再生、録音および TTS プロンプトの数。
Media successes	単一アプリケーションインスタンス上の各コールレグで成功したプロンプト再生、録音および TTS プロンプトの数。
Media aborts	単一アプリケーションインスタンス上の各コールレグにおいて、発信者によって中止されたプロンプト再生、録音および TTS プロンプトの数。
Media failures	単一アプリケーションインスタンス上の各コールレグで失敗したプロンプト再生、録音および TTS 試行の数。
Total media duration	プロンプト再生、録音または TTS の合計時間 (秒単位)。
Application Internal Service -- Handoff	
Bridged handoffs, incoming	単一のアプリケーションインスタンス内でコールバック (ブリッジ転送) により受信したハンドオフの数。
Bridged handoffs, outgoing	単一アプリケーションインスタンスからコールバック (ブリッジ転送) により実行されたハンドオフの数。
Bridged handoffs returned, incoming	アプリケーションインスタンスによって返された着信ブリッジハンドオフの数。
Bridged handoffs returned, outgoing	アプリケーションインスタンスに対して返された発信ブリッジハンドオフの数。
Blind handoffs, incoming	単一のアプリケーションインスタンス内でコールバックなし (ブラインド転送) で受信したハンドオフの数。
Blind handoffs, outgoing	単一アプリケーションインスタンスからコールバックなし (ブラインド転送) で実行されたハンドオフの数。
Handoffs in transit ¹	単一アプリケーションインスタンス上で進行中のハンドオフの数。受信側アプリケーションがアプリケーションを返すか、あるいはハンドオフを拒否すると、この値が1ずつ減少します。
Handoffs failed	単一アプリケーションインスタンス上で失敗した (ブリッジおよびブラインド) ハンドオフの数。

フィールド	説明
Application Internal Service -- Placecall/transfer	
Placecall requests	単一アプリケーション インスタンスから行われた発信コールのセットアップ要求数。
Placecall successes	単一アプリケーション インスタンスにより発信された発信コールの数。
Placecall failures	単一アプリケーション インスタンスで失敗した発信コールのセットアップ要求数。
Place calls in transit	単一アプリケーションで進行中の発信コールの数。コールがセットアップされるか、あるいはセットアップに失敗すると、この値が1ずつ減少します。
Application Internal Service -- Document Read-Write	
Doc requests	ドキュメント取得要求およびドキュメント送信要求の数。
Doc successes	成功したドキュメント取得とドキュメント送信の数。
Doc failures	失敗したドキュメント取得とドキュメント送信の数。
Application Internal Service -- Downloaded Script	
Script parse errors	単一アプリケーション インスタンス上で確認されたセマンティクスエラーの数。
Application Internal Service -- ASNL	
ASNL notifications	サーバーから受信したアプリケーション Subscribe Notify 層 (ASNL) 通知の数。
ASNL requests	単一のアプリケーション インスタンスによって実行されたサブスクライブ要求またはサブスクライブ解除要求の数。
ASNL successes	単一のアプリケーション インスタンス上で成功したサブスクライブ要求またはサブスクライブ解除要求の数。
ASNL failures	単一のアプリケーション インスタンス上で失敗したサブスクライブ要求またはサブスクライブ解除要求の数。
Subscriber Interaction --- DTMF	

フィールド	説明
DTMFs not matched	単一アプリケーションインスタンス上で一致しなかった、発信者が入力した DTMF パターンの数。
DTMFs matched	単一アプリケーションインスタンス上で一致した、発信者が入力した DTMF パターンの数。
DTMFs no input	受信した「入力なし」通知の数 (DTMF タイムアウトを含む)。
DTMFs long pound	単一アプリケーションインスタンス上で確認された、発信者によるシャープ長押し割り込みの数。
Subscriber Interaction -- ASR	
ASR not matched	単一アプリケーションインスタンス上において一致しなかった、発信者からの自動音声認識 (ASR) フレーズの数。
ASR matched	単一アプリケーションインスタンス上において一致した、発信者からの自動音声認識 (ASR) フレーズの数。
ASR no inputs	ASR サーバーから受信した「入力なし」通知の数。
Subscriber Interaction -- AAA Authentication	
AAA authentication successes	AAA 認証の成功数。
AAA authentication failures	無効なパスワードが原因で AAA 認証が失敗した回数。
Subscriber Interaction -- AAA Authorizations	
AAA authorization successes	AAA 許可の成功数。
AAA authorization failures	AAA 許可の失敗数。

¹ このゲージがゼロより大きい場合、当該アプリケーションインスタンスがスクリプトの処理を停止する可能性があり、カウンタとゲージがフリーズしたように見える場合があります。ハンドオフ処理または placecall 処理が終了し、当該アプリケーションインスタンスに制御が戻ると、カウンタおよびゲージが更新されます。

関連コマンド

コマンド	説明
call application event-log	音声アプリケーションインスタンスのイベントロギングを有効にします。

コマンド	説明
call application history session max-records	履歴に保存できるアプリケーションインスタンスレコードの最大数を設定します。
call application history session retain-timer	アプリケーションインスタンスレコードを履歴に保存できる最大分数を設定します。
call application stats	音声アプリケーションの統計情報の収集を有効にします。
call application voice event-log	特定の音声アプリケーションのイベントロギングを有効化します。
show call application app-level	音声アプリケーションのアプリケーション別統計を表示します。
show call application gateway-level	音声アプリケーションインスタンスのゲートウェイ別の統計を表示します。

show call application sessions

実行中または停止したすべての音声アプリケーションセッションに関する要約情報または詳細情報を表示するには、ユーザー EXEC モードまたは特権 EXEC モードで **show call application sessions** コマンドを使用します。

show call application sessions [**callid** *call-id* | **id** *session-id* | **name** *instance-name*]

構文の説明		
callid <i>call-id</i>	(任意) 当該セッションによって制御されているアクティブコールのコールレグ ID。	
id <i>session-id</i>	(任意) 特定のアプリケーション インスタンスのセッション ID。	
name <i>instance-name</i>	(任意) call application session start コマンドでインスタンスに割り当てられた名前。	

コマンド デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード ユーザー EXEC (>) 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.3(4)T	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

- 特定のアプリケーションセッションを、3つの方法（コール ID、セッション ID またはインスタンス名）のいずれかで指定します。
- 特定のセッションを **callid**、**id** または **name** のいずれかのキーワードで指定した場合、このコマンドでは指定した特定のセッションに関する情報のみが表示されます。キーワードを1つも使用しなかった場合、このコマンドでは、**call application session start** コマンドで開始したセッションだけでなく、すべてのセッションに関する要約情報が1行に表示されます。
- このコマンドでは、実行中のすべての TCL IVR 2.0 および VoiceXML アプリケーションセッション、および停止した TCL セッションが一覧表示されます。**call application session stop** コマンドもしくは **no call application session start** コマンドを使用して意図的にセッションを停止した場合、またはスクリプトの実行を妨げるシンタックスエラーがあった場合、そのセッションは「stopped（停止）」状態として表示されます。これが当てはまるのは、グローバルコンフィギュレーションモードで **call application session start** コマンドを使用して当該セッションを開始した場合のみです。



- (注) 特権 EXEC モードで **call application session start** コマンドを使用してセッションを開始した場合、そのセッションはシステムによって追跡されないため、**show call application sessions** コマンドの出力では「stopped (停止)」として表示されません。

例

次に、このコマンドの出力例を示します。

```
Router# show call application sessions
TCL Sessions
  There are 1 active TCL sessions
  SID Name          Called      Calling          App Name          Legs
  5 serv1           5 serv1          5 serv1          sample_service
VXML Sessions
  No running VXML sessions
Stopped Sessions
  Instance Name      App Name          State
  my_instancel      sample            stopped
```

下の表は、このコマンド出力で表示される重要なフィールドについて説明したものです。

表 21 : *show call application sessions* のフィールドの説明

フィールド	説明
SID	アクティブセッションのセッション ID。
Name	call application session start コマンドで設定されたセッション名。
Called	当該セッションを使用しているアクティブコールの着信番号。
Calling	当該セッションを使用しているアクティブコールの発信番号。
App Name	インスタンスが作成されたアプリケーションの名前。
Legs	当該セッションによって制御されているアクティブなコールレッグ。
状態	グローバルコンフィギュレーションモードで call application session start コマンドを使用して当該セッションを開始した場合、実行されていないセッションは「stopped (停止)」と表示されます。

次に、serv1 という名前のセッションに関する出力例を示します。

```
Router# show call application sessions name serv1
Session named serv1 is in the start list in state running
  It is configured to start on GW reboot
  The application it runs is sample_service
  Handle is TCL_HAND*1653710732*0*3193204
TCL Session ID B
  App: sample_service
  URL: tftp://dev/demo/scripts/sample_service.tcl
  Session name: serv1
```

show call application sessions

```

Session handle: TCL_HAND*1653710732*0*3193204
FSM State: start_state
ID for 'show call active voice id' display: 0
Legs:
Services: data_service

```

下の表は、このコマンド出力で表示される重要なフィールドについて説明したものです。

表 22: *show call application sessions name* のフィールドの説明

フィールド	説明
App	インスタンスが作成されたアプリケーションの名前。
URL	call application voice コマンドで指定された、当該アプリケーションに使用するスクリプトの場所。
Session name	call application session start コマンドで設定されたセッション名。
Session handle	TCL mod_handle 情報タグから返されるハンドル。セッションハンドルは、Cisco ゲートウェイの TCL スクリプト内で、他のセッションにメッセージを送信するために使用されます。
FSM State	スクリプトで TCL fsm setstate コマンドによって指定された、TCL IVR 2.0 有限状態マシンの現在の状態。
ID for 'show call active voice id' display:	コール識別子。
Legs	当該セッションによって制御されているアクティブなコールレッグ。
Services	スクリプトで TCL サービス登録コマンドによってサービスとして登録されている場合の、当該セッションのサービス名。 show call application services registry コマンドを使用すると、登録されているすべてのサービスを一覧表示できます。

関連コマンド

コマンド	説明
call application session start (global configuration)	グローバル コンフィギュレーション モードで、TCL アプリケーションの新しいインスタンス (セッション) を開始します。
call application session start (privileged EXEC)	特権 EXEC モードで、TCL アプリケーションの新しいインスタンスを開始します。
call application session stop	実行中の音声アプリケーションセッションを停止します。

コマンド	説明
show call application services registry	登録されているすべてのサービスの要約情報を1行で表示します。

show call application voice

音声アプリケーションに関する情報を表示するには、EXEC モードで **show call application voice** コマンドを使用します。

show call application voice [{*name* | **summary**}]

構文の説明	
<i>name</i>	(任意) 表示したい音声アプリケーションの名前。出力には、ここで指定したアプリケーションに関する情報が表示されます。
summary	(任意) 出力には、各音声アプリケーションの要約情報が1行ずつ表示されます。

コマンド デフォルト 引数 *name* とキーワード **summary** の両方を省略すると、コマンド出力にはすべての自動音声応答 (IVR) アプリケーションに関する詳細情報が表示されます。

コマンド モード EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	11.3(6)NA2	このコマンドが導入されました。
	12.0(3)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.0(3)T に統合されました。
	12.1(5)T	このコマンドが Cisco AS5800 に導入されました。
	12.1(5)XM2	このコマンドが Cisco AS5350 および Cisco AS5400 に導入されました。
	12.2(2)XB	このコマンドが変更され、VoiceXML アプリケーションをサポートするようになりました。
	12.2(2)XB1	このコマンドが Cisco AS5850 に導入されました。
	12.2(4)XM	このコマンドが Cisco 1750 および Cisco 1751 に導入されました。このリリースでは、このコマンドは他のプラットフォームでサポートされていませんでした。
	12.2(8)T	このコマンドが Cisco 1751、Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、Cisco 3725、Cisco 3745、および Cisco 7200 に導入されました。
	12.2(11)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.2(11)T の VoiceXML アプリケーション用に統合されました。このリリースのコマンドは、Cisco AS5300、Cisco AS5350、Cisco AS5400、および Cisco AS5850 でサポートされています。
	12.3(14)T	SCCP テレフォニー制御アプリケーション (STCAPP) に関連する新しい出力が追加されました。

使用上のガイドライン **show call application voice** コマンドを使用すると、設定済みの各アプリケーションに関する詳細な説明を表示できます。

このコマンドに特定のアプリケーション名を入力した場合、そのアプリケーションのみに関する詳細情報が表示されます。

このコマンドにキーワード **summary** を入力した場合、各アプリケーションごとに1行の要約情報が表示されます。

STCAPP が有効になっている状態で **summary** コマンドを実行すると、使用可能なコールアプリケーションとして STCAPP が表示されます。

キーワード **summary** を使用した出力で、アプリケーション名の横にアスタリスクが表示される場合、当該アプリケーションは設定済みであるものの実行されていないことを意味します。通常この原因は、アプリケーションが正常にロードされなかったことにあります。この例を次に示します。

```
name                description
*vapptest2         flash:helloworld.vxml
```

TCL スクリプトと VoiceXML ドキュメントは、TFTP サーバー、FTP サーバー、HTTP サーバー、ゲートウェイのフラッシュメモリ、または Cisco 3600 シリーズのリムーバブルディスクのいずれかの場所に保存できます。これらのアプリケーションで使用されるオーディオファイルは、上記場所のいずれか、および RTSP サーバーに保存できます。

例

次に示すのは、当該セッションの Toolkit Command Language (TCL) スクリプトの出力例です。

```
Router# show call application voice session
Application session
  The script is compiled into the image
  It has 0 calls active.
  Interpreted by infrastructure version 2.0
The TCL Script is:
-----
# app_session.tcl
#-----
# August 1999, Saravanan Shanmugham
#
# Copyright (c) 1998, 1999, 2000, 2001 by cisco Systems, Inc.
# All rights reserved.
#-----
#
# This tcl script mimics the default SESSION app
#
# If DID is configured, just place the call to the dnis
# Otherwise, output dial-tone and collect digits from the
# caller against the dial-plan.
#
# Then place the call. If successful, connect it up, otherwise
# the caller should hear a busy or congested signal.
# The main routine just establishes the statemachine and then exits.
# From then on the system drives the statemachine depending on the
# events it recieves and calls the appropriate tcl procedure
#-----
# Example Script
#-----
proc init { } {
    global param
    set param(interruptPrompt) true
```

```

        set param(abortKey) *
        set param(terminationKey) #
    }
proc act_Setup { } {
    global dest
    global beep
    set beep 0
    if { [infotag get leg_isdid] } {
        set dest [infotag get leg_dnis]
        leg proceeding leg_incoming
        leg setup $dest callInfo leg_incoming
        fsm setstate PLACECALL
    } else {
        leg setupack leg_incoming
        playtone leg_incoming tn_dial
        set param(dialPlan) true
        leg collectdigits leg_incoming param
    }
}
proc act_GotDest { } {
    global dest
    set status [infotag get evt_status]
    if { $status == "cd_004" } {
        set dest [infotag get evt_dcdigits]
        leg proceeding leg_incoming
        leg setup $dest callInfo leg_incoming
    } else {
        puts "\nCall [infotag get con_all] got event $status collecting destina"
        call close
    }
}
proc act_CallSetupDone { } {
    global beep
    set status [infotag get evt_status]
    if { $status == "ls_000" } {
        set creditTimeLeft [infotag get leg_settlement_time leg_all]
        if { ($creditTimeLeft == "unlimited") ||
            ($creditTimeLeft == "uninitialized") } {
            puts "\n Unlimited Time"
        } else {
            # start the timer for ...
            if { $creditTimeLeft < 10 } {
                set beep 1
                set delay $creditTimeLeft
            } else {
                set delay [expr $creditTimeLeft - 10]
            }
            timer start leg_timer $delay leg_incoming
        }
    } else {
        puts "Call [infotag get con_all] got event $status collecting destinati"
        call close
    }
}
proc act_Timer { } {
    global beep
    global incoming
    global outgoing
    set incoming [infotag get leg_incoming]
    set outgoing [infotag get leg_outgoing]
    if { $beep == 0 } {
        #insert a beep ...to the caller
        connection destroy con_all
        set beep 1
    }
}

```

```

    } else {
        connection destroy con_all
        fsm setstate LASTWARN
    }
}
proc act_LastWarn { } {
    media play leg_incoming flash:out_of_time.au
}
proc act_Destroy { } {
    media play leg_incoming flash:beep.au
}
proc act_Beeped { } {
    global incoming
    global outgoing
    connection create $incoming $outgoing
}
proc act_ConnectedAgain { } {
    timer start leg_timer 10 leg_incoming
}
proc act_Ignore { } {
# Dummy
    puts "Event Capture"
}
proc act_Cleanup { } {
    call close
}
init
#-----
#   State Machine
#-----
set fsm(any_state,ev_disconnected) "act_Cleanup          same_state"
set fsm(CALL_INIT,ev_setup_indication) "act_Setup          GETDEST"
set fsm(GETDEST,ev_collectdigits_done) "act_GotDest        PLACECALL"
set fsm(PLACECALL,ev_setup_done) "act_CallSetupDone  CALLACTIVE"
set fsm(CALLACTIVE,ev_leg_timer) "act_Timer          INSERTBEEP"
set fsm(INSERTBEEP,ev_destroy_done) "act_Destroy        same_state"
set fsm(INSERTBEEP,ev_media_done) "act_Beeped         same_state"
set fsm(INSERTBEEP,ev_create_done) "act_ConnectedAgain CALLACTIVE"
set fsm(LASTWARN,ev_destroy_done) "act_LastWarn       CALLDISCONNECT"
set fsm(CALLACTIVE,ev_disconnected) "act_Cleanup        CALLDISCONNECT"
set fsm(CALLDISCONNECT,ev_disconnected) "act_Cleanup        same_state"
set fsm(CALLDISCONNECT,ev_media_done) "act_Cleanup        same_state"
set fsm(CALLDISCONNECT,ev_disconnect_done) "act_Cleanup        same_state"
set fsm(CALLDISCONNECT,ev_leg_timer) "act_Cleanup        same_state"
fsm define fsm CALL_INIT

```

次に、キーワード **summary** を指定した場合の出力例を示します。

```

Router# show call application voice summary
name          description
session       Basic app to do DID, or supply dialtone.
fax_hop_on    Script to talk to a fax redialer
clid_authen   Authenticate with (ani, dnis)
clid_authen_collect Authenticate with (ani, dnis), collect if that fails
clid_authen_npw Authenticate with (ani, NULL)
clid_authen_col_npw Authenticate with (ani, NULL), collect if that fails
clid_col_npw_3 Authenticate with (ani, NULL), and 3 tries collecting
clid_col_npw_npw Authenticate with (ani, NULL) and 3 tries without pw
DEFAULT      Default system session application
lib_off_app   Libretto Offramp
TCL Script Version 2.0 supported.
TCL Script Version 1.1 supported.
Voice Browser Version 2.0 for VoiceXML 1.0 & 2.0 supported.

```

次に、STCAPP が有効になっている状態でキーワード **summary** を指定した場合の出力例を示します。

```
Router# show call application voice summary
```

```
SERVICES (standalone applications):
  name                type                description
  ipsla-responder     Tcl Script          builtin:app_test_rcvr_script.tcl
  clid_authen         Tcl Script          builtin:app_clid_authen_script.tcl
  clid_col_npw_npw    Tcl Script          builtin:app_clid_col_npw_npw_script.tcl
  DEFAULT             C Script           builtin:Session_Service.C
  CTAPP               C Script           builtin:CallTreatment_Service.C
  clid_authen_col_npw Tcl Script          builtin:app_clid_authen_col_npw_script.tcl

  fax_hop_on         Tcl Script          builtin:app_fax_hop_on_script.tcl
  ipsla-testcall     Tcl Script          builtin:app_test_place_script.tcl
  clid_authen_npw    Tcl Script          builtin:app_clid_authen_npw_script.tcl
  session            Tcl Script          builtin:app_session_script.tcl
  clid_authen_collect Tcl Script          builtin:app_clid_authen_collect_script.tcl

  clid_col_npw_3     Tcl Script          builtin:app_clid_col_npw_3_script.tcl
  lib_off_app        CCAPI              Libretto Offramp
  DEFAULT.C.OLD      CCAPI              Obsolete system session application
  stcapp             CCAPI              SCCP Call Control Application
  MGCPAPP            CCAPI              MGCP Application
```

次に、STCAPP が有効になっている状態でキーワード *stcapp* を指定した場合の出力例を示します。

```
Router# show call application voice stcapp
```

```
App Status:          Active
CCM Status:          UP
CCM Group:           2
Registration Mode:   CCM
Total Devices:       5
Total Calls in Progress: 0
Total Call Legs in Use: 0
```

次に、VoiceXML アプリケーション「vapptest1」を指定して `show call application voice` コマンドを実行した場合の出力例を示します。

```
Router# show call application voice vapptest1
```

```
VXML Application vapptest1
  URL=flash:demo0.vxml
  Security not trusted
  No languages configured
  It has: 0 calls active.
    0 incoming calls
    0 calls handed off to it
    0 call transfers initiated
    0 pages loaded, 0 successful
    0 prompts played
    0 recorded messages

  Interpreted by Voice Browser Version 2.0 for VoiceXML 1.0 & 2.0.
The VXML Script is:
-----
<?xml version="1.0"?>
<vxml version="1.0">
  <form>
```

```

    <block>
      <audio src="flash:demo0.au"/>
    </block>
  </form>
</vxml>

```

次の表に、**show call application voice** コマンドの出力で表示されるフィールドについて説明します。

表 23 : **show call application voice** のフィールドの説明

フィールド	説明
URL	このアプリケーションで使用されるドキュメントの場所。
It has: <i>n</i> calls active.	このアプリケーションを使用中のコール数。
incoming calls	このアプリケーションを呼び出した公衆電話交換網 (PSTN) 着信コールまたは着信 IP コールの数。
calls handed off to it	別の TCL アプリケーションまたは VoiceXML アプリケーションからこのアプリケーションにハンドオフされたコール数。
call transfers initiated	このアプリケーションが開始したコール転送の数。
pages loaded	このアプリケーションがロードした VoiceXML ページの数。
successful	完了した VoiceXML ページ数。
prompts played	このアプリケーションが再生した音声プロンプトの数。
recorded messages	この VoiceXML アプリケーションが作成した音声録音の数。
Interpreted by	このアプリケーションが使用するプログラミング言語。
The TCL or VoiceXML Script is	VoiceXML ドキュメントまたは TCL スクリプトの内容。

関連コマンド

Command	Description
call application voice	アプリケーションに使用する名前を定義し、当該アプリケーションで使用する適切な IVR スクリプトの場所を指定します。
call application voice load	指定された TCL スクリプトまたは VoiceXML ドキュメントをロードします。

show call fallback cache

キャッシュ内のすべての IP アドレスを対象とした計画劣化係数算出値 (ICPIF) の現在の推定値を表示するには、EXEC モードで **show call fallback cache** コマンドを使用します。

show call fallback cache [*ip-address*]

構文の説明	<i>ip-address</i>	(任意) 特定の IP アドレス。
-------	-------------------	-------------------

コマンドモード EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(3)T	このコマンドが Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco MC3810 に導入されました。
	12.2(2)XB1	このコマンドが Cisco AS5850 に導入されました。
	12.2(11)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.2(11)T に統合されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用すると、キャッシュ内のすべてのエントリをクリアできます。

例

次に、このコマンドの出力例を示します。

```
Router# show call fallback cache
Probe  IP Address      Codec  Delay  Loss  ICPIF  Reject  Accept
-----  -----
1       1.1.1.4          g729r8  40     0     0      0       9
2       122.24.56.25    g729r8  148    10    5      1       4
2 active probes
Field                Description
-----
Probe                Probe number
IP Address           IP Address to which the probe is sent
Codec                Codec Type of the probe
Delay                Delay in milliseconds that the probe incurred
Loss                 Loss in % that the probe incurred
ICPIF                Computed ICPIF value for the probe
Reject               Number of times that calls of Codec Type <Codec>
                    were rejected to the IP Address
Accept               Number of times that calls of Codec Type <Codec>
                    were accepted to the IP Address
active probes        Number of destinations being probed
Router# show call fallback cache 10.14.115.53
Probe  IP Address      Codec  ICPIF  Reject  Accept
-----  -----
1       10.14.115.53   g729r8  0      0       2
1 active probes
```

フィールドの説明は自明のため省略します。

関連コマンド

コマンド	説明
show call fallback stats	コールフォールバックの統計を表示します。

show call fallback config

コールフォールバックの設定を表示するには、特権 EXEC モードで **show call fallback config** コマンドを使用します。

show call fallback config

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(3)T	このコマンドが Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco MC3810 に導入されました。
12.2(2)XB1	このコマンドが Cisco AS5850 に導入されました。
12.2(11)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.2(11)T に統合されました。

例

次に、**show call fallback config** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show call fallback config
VoIP fallback config:
Fallback is ON
Using ICPIF threshold:
    ICPIF value timeout:20 seconds
    ICPIF threshold:20
Number of packets in a probe:20
IP precedence of probe packets:2
Fallback cache size:2 entries
Fallback cache timeout:240 seconds
Instantaneous value weight:65
MD5 Keychain:secret
```

次の表では、**show call fallback config** の出力に表示されるフィールドについて説明します。

表 24: show call fallback config のフィールドの説明

フィールド	説明
Fallback is	コールフォールバックの有効/無効状態が一覧表示されます。
Using ICPIF threshold	ネットワークトラフィックの判別用に ICPIF が設定されています。
ICPIF value timeout	ICPIF 情報を収集するためのプローブタイムアウトが一覧表示されます。

フィールド	説明
ICPIF threshold	設定済みの ICPIF しきい値が一覧表示されます。
Number of packets in a probe	プローブごとに設定されたパケット数が一覧表示されます。
IP precedence of probe packets	プローブに設定された IP 優先順位が一覧表示されます。
Fallback cache size	コール フォールバック キャッシュで許可されているエントリ数。
Fallback cache timeout	キャッシュタイムアウト時間（秒単位）。
Instantaneous value weight	新しいプローブおよび最後のエントリに基づくキャッシュエントリの算出に設定された重み付けを一覧表示します。
MD5 Keychain	MD5 認証が、キーチェーン secret を使用して設定されています。

関連コマンド

コマンド	説明
call fallback monitor	代替ダイヤルピアへのフォールバックを使用しない送信先モニタリングを有効にします。
show voice trunk-conditioning signaling	ネットワーク輻輳が発生した場合に、代替ダイヤルピアにフォールバックできるようにします。

show call fallback stats

コールフォールバックの統計を表示するには、特権 EXEC モードで **show call fallback stats** コマンドを使用します。

show call fallback stats

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(3)T	このコマンドが Cisco 2600、Cisco 3600、および Cisco MC3810 に導入されました。
12.2(2)XB1	このコマンドが Cisco AS5850 に導入されました。
12.2(11)T	このコマンドが Cisco IOS リリース 12.2(11)T に統合されました。

使用上のガイドライン

すべての値を削除するには、**clear call fallback stats** コマンドを使用します。

例

次に、**show call fallback stats** コマンドの出力例を示します。

```
Router# show call fallback stats
VOIP Fallback Stats:
Total accepted calls:3
Total rejected calls:1
Total cache overflows:1
Field                Description
-----
Total accepted calls  Number of times that calls were successful over IP.
Total rejected calls  Number of times that calls were rejected over IP.
Total cache overflows Number of times that the fallback cache overflowed and required
pruning.
The table below describes the fields shown in the show call fallback stats
display
```

表 25: show call fallback stats のフィールドの説明

フィールド	説明
Total accepted calls	IP 経由で成功したコールの回数。
Total rejected calls	IP 経由で拒否されたコールの回数。
Total cache overflows	フォールバックキャッシュがオーバーフローしてブルーニングが必要になった回数。

関連コマンド

コマンド	説明
clear call fallback stats	コールフォールバックの統計をクリアします。
show call fallback cache	キャッシュ内のすべての IP アドレスの現在の ICPIF 推定値を表示します。

show call filter components

コールのフィルタリングに用いられるコンポーネントを表示するには、特権 EXEC モードで `show call filter components` コマンドを使用します。

show call filter components

コマンド デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.3(4)T	このコマンドが導入されました。
	Cisco IOS XE リリース 3.10S	このコマンドが Cisco IOS XE リリース 3.10S に統合されました。

例

次の例は、`show call filter components` コマンドを実行した場合の出力例を示しています。GCFM は汎用コールフィルタモジュールであり、どのコンポーネントをフィルタリングするかを制御する内部モジュールです。

```
Router# show call filter components
The following components registered in GCFM:
  ISDN
  VTSP
  CCAPI
  TGRM
  DIAL-PEER
  NUMBER-TRANSLATION
  SSAPP
  VOICE-IVR-V2
  H323
  SIP
  CRM
  TSP
  FAX-FOIP
  FAX-FMSP
  FAX-DMSP
  FAX-MSPI
  FAX-MTA
  DSPAPI
  MGCP
  DSMP
  H221
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 26 : show call filter components のフィールドの説明

フィールド	説明
The following components registered in GCFM:	汎用コールフィルタモジュールでフィルタリングされるコンポーネントを表示します。

関連コマンド

コマンド	説明
call filter match-list voice	音声コールのデバッグに使用するコールフィルタの一致リストを作成します。
debug call filter inout	GCFM 内のデバッグトレースを表示します。
debug condition match-list	音声コールに対してフィルタ処理されたデバッグを実行します。
outgoing port	発信ポートのデバッグフィルタリングを設定します。
show call filter match-list	コールフィルタ一致リストを表示します。

show call filter match-list

コールフィルタの一致リストを表示するには、特権 EXEC モードで show call filter match-list コマンドを使用します。

show call filter match-list tag

構文の説明	<i>tag</i> 一致リストを一意に識別する数値ラベル。
-------	--------------------------------

コマンド デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.3(4)T	このコマンドが導入されました。
	Cisco IOS XE リリース 3.10S	このコマンドが Cisco IOS XE リリース 3.10S に統合されました。

例

次の例は、show call filter match-list コマンドの出力を示したものです。

```
Router# show call filter match-list

*****
call filter match-list 9 voice
*****
  incoming calling-number 50200
  incoming called-number 50201
  incoming signal local ipv4 10.0.101.22
  incoming signal remote ipv4 10.0.101.21
  incoming media local ipv4 10.0.101.22
  incoming media remote ipv4 10.0.101.21
  incoming dialpeer 502
  outgoing calling-number 50200
  outgoing called-number 50201
  outgoing port 6/0:D
  outgoing dialpeer 501
  debug condition match-list is set to EXACT_MATCH
*****
call filter match-list 10 voice
*****
  incoming calling-number 50300
  incoming called-number 50301
  incoming signal local ipv4 10.0.101.22
  incoming signal remote ipv4 10.0.101.21
  incoming media local ipv4 10.0.101.22
  incoming media remote ipv4 10.0.101.21
  incoming dialpeer 504
  outgoing calling-number 50300
  outgoing called-number 50301
  outgoing port 6/1:D
```

```

outgoing dialpeer 503
debug condition match-list is set to EXACT_MATCH

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 27: *show call filter match-list* のフィールドの説明

フィールド	説明
call filter match-list 9 voice	どの一致リストが表示されているかを示します。
debug condition match-list is set to EXACT_MATCH	デバッグ条件が完全一致または部分一致のどちらに設定されているかを示します。

関連コマンド

コマンド	説明
call filter match-list voice	音声コールのデバッグに使用するコールフィルタの一致リストを作成します。
debug call filter inout	GCFM 内のデバッグトレースを表示します。
debug condition match-list	音声コールに対してフィルタ処理されたデバッグを実行します。
show call filter components	コールのフィルタリングに使用されるコンポーネントを表示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。